

I .各担当事業別の実績

【総務課 法人運営係】

1. 総務担当

社会福祉をめぐる社会状況の変化に対応し、本会が求められる役割を担うべく、役職員が一体となり、法人運営の強化を図った。また、内部管理体制の強化に向けた取り組みをすすめた。

(1) 法人運営の強化

事業内容	事業実績	事業効果・評価等
1. 評議員会	(1) 評議員会の開催(2回) * 6月 27 日・7年3月 25 日	○ 法令に従い適正に開催した
2. 三役会・理事会	(1) 三役会の開催(4回) * 5月 20 日・8月 26 日 10月 21 日・7年2月 27 日 (2) 理事会の開催(5回) * 6月 10 日・6月 27 日・9月 12 日 11月 7日・7年3月 13 日	○ 法令に従い適正に開催した ○ 三役会では、法人運営全般について協議し、また、理事会議案事項の調整を行った
3. 監査	(1) 監事監査の実施(2回) * 5月 14 日・10月 18 日	○ 「監事監査規程」を制定し、監査方法や役割を精査した

【評議員会 議案・報告事項】

	内容	出席者数
第1回	議案第1号 役員の選任について 議案第2号 令和5年度 事業報告について 議案第3号 令和5年度 収入支出決算について 議案第4号 令和6年度 第1回補正予算について (報告事項) 令和5年度監査報告／第 11 回社協ふくしのつどいについて／令和6年度事務局組織について／令和6年度会員会費増強運動について 他	13 名
第2回	議案第1号 基本財産の処分について 議案第2号 定款の変更について 議案第3号 令和6年度 補正予算について 議案第4号 令和7年度 事業計画について 議案第5号 令和7年度 資金収支予算について (報告事項) 第5期国分寺市地域福祉活動計画／社協発展・強化計画／令和7年度事務局組織について 他	13 名

【理事会 議案・報告事項】

	内容	出席者数
第1回	議案第1号 役員の選任について 議案第2号 役員の派遣について 議案第3号 役員賠償責任保険の加入について 議案第4号 令和5年度 事業報告について 議案第5号 令和5年度 収入支出決算について	理事:10 名 監事:1名

	議案第6号 令和6年度 第1回補正予算について 議案第7号 令和6年度 第1回評議員会 招集議案の決定及び開催について 議案第8号 嘱託職員就業規則 議案第9号 事務局に関する規程(第33号)の改正について 議案第10号 個人情報保護規程(第43号)の改正について 議案第11号 「職員退職金等積立金」の設置及び管理に関する規程(第61号)の廃止について (報告事項) 令和5年度 監査報告／令和5年度 予備費の使用について／第11回社協ふくしのつどいの開催について／令和6年度 事務局組織について／会長・常務理事職務執行状況報告(令和5年度下半期)について／人材評価について／法人後見及び法人後見監督業務実施状況について／令和6年度 会員会費増強運動について 他	
第2回	議案第1号 役員の選定について	理事:12名 監事:2名
第3回	議案第1号 会員および会費に関する規程(規程第10号)の改正について 議案第2号 事務局職員の育児休業等に関する規程(規程第32号)の改正について (報告事項) 令和6年度 区市町村社協会長・役員事務局長研究協議会について／地域懇談会「つながる懇談会」開催報告／令和6年度 赤い羽根共同募金について／国分寺市社会福祉法人連絡会について 他	理事:10名 監事:1名
第4回	議案第1号 基本財産の処分について 議案第2号 定款の変更について 議案第3号 定款施行細則の変更について (報告事項) 令和6年度上半期 監査報告について／令和6年度上半期 事業報告について／令和6年度上半期 会長及び常務理事職務執行状況報告について／歳末たすけあい運動の実施について 他	理事:12名 監事:2名
第5回	議案第1号 令和6年度 第2回補正予算について 議案第2号 社協運営基金の取り崩しについて 議案第3号 令和7年度 事業計画について 議案第4号 令和7年度 資金収支予算について 議案第5号 令和6年度 第2回評議員会について 議案第6号 定款の変更について 議案第7号 就業規則について 議案第8号 嘱託職員就業規則の改正について 議案第9号 事業協力員の報酬及び費用弁償に関する規程(規程第7号)の改正について 議案第10号 経理規程(規程第26号)の改正について 議案第11号 事務局職員の給与に関する規程(規程第29号)の改正について 議案第12号 事務局に関する規程(規程第33号)の改正について 議案第13号 文書管理規程(規程第38号)の改正について 議案第14号 権利擁護センターこくぶんじ運営委員会規程(規程第49号)の改正について 議案第15号 権利擁護センターこくぶんじ設置規程(規程第52号)の改正について 議案第16号 社協運営基金の設置及び管理に関する規程(規程第55号)の改正について	理事:12名 監事:0名

	議案第 17 号 地域福祉推進基金の設置及び管理に関する規程(規程第 56 号)の改正について 議案第 18 号 「第5期国分寺市地域福祉活動計画」について 議案第 19 号 「社協発展・強化計画」について (報告事項) 令和7年度 会議開催予定／令和7年度 事務局体制について／令和7年度 社協ふくしのつどいの開催について／東社協会長表彰について／任期満了に伴う評議員および役員等の選任スケジュールについて他	
--	---	--

(2)法人経営の強化

事業内容	事業実績	事業効果・評価等
1. 適正な財務管理	(1) 経費の節減 (2) 運営基金の適正な管理 (3) 財務顧問の設置に向けて検討	○ サーバー上でデータ管理を進め、ペーパーレス化を図り経費の削減につなげた。 ○ 運営基金運用について自主財源プロジェクトを立ち上げた。運営基金のあり方について継続的に検討をおこなっていく。 ○ 適正な財務管理の実施に向けて、監査方法を検討した。財務顧問の設置については令和7年度、引き続き検討していく。

(3)地域における公益的な取り組み

事業内容	事業実績	事業効果・評価等
1. 国分寺市社会福祉法人連絡会の推進 (当会事務局)	(1) 役員会の開催(4回) *5月 16 日・7月2日・8月 27 日・7年3月 24 日 (2) 総会(1回) *6月4日 (3) 地域公益活動の実施 ① 「福祉のしごと相談・面接会」の開催 日時:11 月1日 出展法人:10 法人 ② 「フードドライブ」の実施 期間:7年1月 27 日～2月7日 協力法人:6法人(7事業所) 実績:76.6 kg ③ 災害に関する取り組み ➢ 市防災安全課との情報共有 ➢ 「BCP」研修会の開催 社会福祉法人における災害対策の基本、BCPの作成について (4) 車いすステーションへの協力	○ 共通課題である災害時の対応について市防災安全課と災害時の社会福祉法人の二次避難所や福祉避難所の運営について、情報共有を行うことができた。また、BCPの研修会を開催し、より実行性のあるマニュアル作成について学んだ。 ○ 「福祉のしごと相談・面接会」を法人連絡会単独主催で開催。福祉の仕事への理解を広げ、就職につなげる場とした。 ○ 社会福祉だより「ふくし」令和7年1月15 日号で、フードドライブの実施と併せて法人連絡会会員の紹介と PR を実施した。 ○ 地域公益活動の一環として、社協の実施する車いすステーションへの協力を呼び掛けた。

(4)地域福祉活動計画の推進

事業内容	事業実績	事業効果・評価等
1. 第5期地域福祉活動計画の策定	(1) 第5期国分寺市地域福祉活動計画策定委員会開催(4回) * 7月 12 日・10 月 11 日 12 月 6 日・7年3月 11 日	○ 第4期地域福祉活動計画の評価と課題、社会の動向の変化や市民の声を反映し、第5期地域福祉活動計画を策定した。

(5)事務局機能の強化

事業内容	事業実績	事業効果・評価等
1. 事務局機能の強化	(1) 事務局組織の円滑な運営 ・ 管理職会議の開催(月1回) ・ 正規職員会議の開催 ・ 課題別プロジェクトの設置(災害・広報など) (2) 社協発展・強化計画の策定 (3) 人材評価の導入 (4) 定款・規程等の整備	○ 法人運営・法人経営や業務実施における進捗状況などの課題を共有し、課題解決に向けて取り組んだ ○ 各担当業務の進捗状況や課題等の共有を行い、課題解決に向けて、横断的な連携を図った ○ 5か年の発展・強化計画を策定し、地域福祉を推進するため事業運営・経営ビジョンや目標を明確にした ○ 人材評価の導入により、職員の意識が高まった ○ 法令に従い適正に整備した
2. 苦情解決システムの構築	(1) 苦情解決第三者委員会(1回) * 9月 13 日 (2) 第三者委員 * 興水 香氏・若島 礼子氏	○ 本会に対する苦情はなかったが、各事業に対する市民からのご意見を第三者委員へ報告・助言をいただき、本会が提供する福祉サービスの質の向上、取り組みに繋がった

(6)連絡調整機能の充実・強化

事業内容	事業実績	事業効果・評価等
1. ふくしのつどいの実施	(1) 「第11回 社協ふくしのつどい」 * 開催日:6月15日 * 場所:リオンホール * 来場者:146 名 * 表彰対象:38 名 感謝:33 名 (内容) 第1部 記念式典 第2部 漫才&パネルトーク～地域の魅力を知る～ 漫才:ガクテンソク(吉本興業所属) パネルトーク: ガクテンソク、早稲田実業中等部3年生3名、杉田直木氏	○ 地域の発展に功績のあった方々に感謝を伝えるとともに、社協の周知と誰もが安心して暮らせるまちづくりへの参加と理解を深めていただく機会となった
2. 自治会町内会連絡会の開催	(1) 自治会町内会連絡会(市共催) 第1回:5月 30 日、6月1日 第2回:10 月 19 日 内容:講演会および事例紹介 テーマ:「まちの腕きき掲示板」	○ 参加しやすい環境づくりのため、オンラインとのハイブリッド方式で開催した ○ 困りごとをもつ自治会・町内会と、経験や得意なこと活かして地域に役立ちたい方々をつなげる取り組みを紹介した。

3. 地域懇談会の開催	(1) つながる懇談会(3回) ① 8月30日 @ひかりプラザ ② 9月3日 @リオンホール ③ 9月13日 @福祉センター	○ 幅広く市民や関係機関等に参加を呼びかけ、参加者とともに地域課題やその解決のためにできることについて話した。 ○ つながる懇談会で挙げた意見を「第5期地域福祉活動計画」の作成に反映させた。
-------------	---	--

(7)広報力の強化

事業内容	事業実績	事業効果・評価等
1. 情報発信	(1) 社会福祉だより「ふくし」の発行 ➤ 発行回数:2回(5月1日・7年1月15日) ➤ 発行部数:72,200部	○ 全戸配布の他、公共施設・関係機関等へ配架し、本会が取り組む事業を市民および関係機関等に幅広く周知し、地域福祉への参画を呼びかけた
2. マスコットキャラクターの活用	(1) マスコットキャラクター「ふくすけ」 ① グッズの作成(缶バッジ、ノート)	○ 社会福祉だより「ふくし」をはじめ、リーフレットやチラシなどでマスコットキャラクターを活用し、事業の周知を図った

(8)自主財源の確保

事業内容	事業実績	事業効果・評価等
1. 会員会費増強運動	強化月間:7月1日～31日 会費実績総額:4,878,184円 会員数合計:12,299人 (寄付者含む)	○ 団体の定例会参加や企業訪問、郵送等で積極的に協力を呼びかけた ○ 口座振替やクレジットカード決済を新たに導入し、利便性を図った ○ 全体的には減少傾向だが、法人会員、個人賛助会員は増加した
2. 自主財源の確保	(1) ふれあい募金箱 *実績:174,568円(42か所分)	○ 現在50か所に募金箱を設置している
	(2) 社会貢献型自動販売機(4か所) *実績:509,074円	○ 前年度から減額となった。次年度増設をめざしたい。
	(3) 有料広告の掲載 *掲載:社会福祉だより「ふくし」	○ 広告代理店経由での広告募集を継続して行った。
	(4) 使用済み切手・インクカートリッジ・書き損じはがき・CD/DVD・古本等 *実績:33,095円	○ ふくし等で広報を行い、市民に協力を呼びかけた
3. 募金事業	(1) 歳末たすけあい運動 *実施期間:12月1日～31日 *募金実績:4,243,086円 【街頭募金】 *実施日:12月1日 *場所:国分寺駅構内 *募金額:73,938円	○ 1か月間 Web から納入できるキャンペーンを実施した ○ 国分寺市薬剤師会、国分寺市商店会連合会、国分寺青年会議所、市内企業等を通じて募金箱を設置
	(2) 赤い羽根共同募金運動 *実施期間:10月1日～3月31日	○ 地区協力会で承認された事業計画・予算に沿って運動を実施

4. 財源確保の検討	*募金実績:3,613,347 円 【街頭募金】 ①地区協力会、前年度受配団体等 *実施日:10月1日 *場所:国分寺駅構内 *募金額:136,686 円 ②国分寺市学童少年軟式野球連盟 *実施日:10月12日 *場所:国分寺駅周辺・西国分寺駅・国立駅北口 *募金額:548,802 円 【国分寺地区協力会の運営】 ①理事・監事会の開催(3回) *開催日:7月31日(決議の省略)・8月19日・7年1月27日 ②配分推せん委員会の開催(1回) *開催日:7年1月27日	○自治会・町内会をはじめ、市内小中学校、市内で活動している団体や福祉関係施設に協力依頼 ○地域配分(B配分)(令和6年度申請・7年度使用分)について、募集および受付を実施 ○配分推せん委員会で配分推せん決定された内容について東京都共同募金会に推せんし、承認された ○自治会・町内会による募金協力は減額となったが、市立小・中学校による協力や、市内私立学校による街頭募金等から、全体的な募金額は昨年とほぼ同額に近い数字となった
	(1) 役職員による自主財源確保に関するプロジェクトの開催(年2回)	○会員会費の現状と課題整理、基金のあり方などを協議した。 ○長期的な財政基盤の確立を図るため本プロジェクトを継続する。

(9)災害に備えた取り組み

事業内容	事業実績	事業効果・評価等
1. 災害に備えた取り組み	(1)「国分寺市防災フェスタ」に参加 *開催日:10月6日 *内容 ①「災害ボランティアセンターのPR ②「防災クイズ」 (2)「災害市震災対応訓練関係機関担当者会議」に参加(2回) *開催日:5月24日・6月28日 (3)「国分寺市防災会議」に参加 *開催日:7月7日 (4)「北多摩西部ブロック職員連絡会災害研修会」に参加 *開催日:9月11日 *内容:ニーズ調査の訓練、災害時における社協の取り組みについての説明 (5)「防災まちづくり学校」に協力 *開催日:10月11日 *内容:「災害時の役割」「クロスロードゲーム」 (6)「国分寺青年会議所」との合同災害VC立ち上げ訓練 *開催日:11月30日	○市民が楽しく参加できる内容とし、世代を問わず多くの方に参加いただくことができ、災害について自分事として考えるきっかけづくりと災害VCのPRを行うことができた ○訓練を通して発災時における社協の役割や、ニーズ調査の重要性について理解を深めた ○近隣の地区社協同士で交流を図り、顔の見える関係性を築くことで連携を強めた ○共助力をテーマに、本会の事業説明とあわせて、災害時の社協の役割や、社協が災害に取り組む意味について広報した ○災害VCマニュアルの見直しを図り、その検証のため災害VC立ち上げ

	* 内容: 災害VC立ち上げ訓練、災害時における社協の取り組みについての説明、能登半島地震の災害派遣の報告 (7)「市内地域活動支援センター(3か所)」との合同研修の開催 * 開催日: 11月20日 * 内容: クロスロードゲームや非常食の試食等を実施 (8) 社協職員災害担当PT(プロジェクト)の設置 * 開催日(8回) 5月29日・7月16日・8月8日・8月28日・9月17日・11月19日・7年1月21日・3月18日 (9) 職員研修 * 開催日: 7月21日 * 内容: 全職員を対象に職員初動マニュアルの内容と、災害時の対応について確認を行った。 (10)「令和6年能登半島地震」への対応 ① 支援金募金箱の設置 募金総額: 90,644円	訓練を実施した。あわせて会場まで自動参集訓練も実施し、職員行動マニュアルの見直しの参考とした。 ○ お互いの組織を改めて知るとともに、協定締結の経緯や内容について共有を行った ○ 日ごろから顔の見える関係づくりのきっかけとなった ○ 障害分野における災害時の対応について情報共有を行った ○ 防災フェスタ、研修の開催、マニュアルの見直し、防災倉庫の備品整備を行い、通年を通して災害対応に取り組んだ ○ 「社協役職員の災害時行動マニュアル」の確認と情報共有を行った ○ 平常時から職員の災害対応への意識を高めるよう、定期的な研修を実施していく ○ 令和6年1月から引き続き、本会事務所窓口(3か所)や市内の店舗などに支援金募金箱を設置し、中央共同募金会宛に送金した(支援金総額は458,878円) ○ 活動内容を職員間で共有し、今後のマニュアル作成や災害時対応に活かしていく
--	---	---

2. 子育て支援担当《国分寺市ファミリー・サポート・センター》

国分寺市在住で生後57日から満12歳の子どもの保護者で子育てを手伝って欲しい方(利用会員)とお手伝いができる方(援助会員)の有償の相互援助活動のコーディネートや、活動に伴う相談、援助会員の育成等、国分寺市の委託を受けて、ファミリー・サポート・センター事業を実施した。 ※令和6年度で事業終了

(1) 講習会等の実施

項目	事業実績	事業効果・評価等
1. 援助会員講習会	(1) 援助会員講習会 【延べ4日間 年3回】 * 第1回 5月21日～24日	○ 援助会員の養成を目的として、市の児童福祉施策、子育ての基本、発達に課題のある子どもへの理

	受講者 10 名うち登録者6名 *第2回 10 月 17、18、21、22 日 受講者9名うち登録者3名 *第3回 7年2月4～7日 受講者 22 名うち登録者 18 名	解、応急救護等の講義を開催した ○ 6年度は、27 名が登録した
2. フォローアップ 研修等	(1) 応急救護講習・ヒヤリハット検証 【年3回】 *第1回 5月 24 日 受講者3名 *第2回 10 月 22 日 受講者7名 *第3回 7年2月6日 受講者7名 (2) 「こどもの発達支援センターつくしんぼ」見学研修【年2回】 *第1回 6月 13 日 受講者8名 *第2回 11 月 7日 受講者5名 ※11月～『児童発達支援センターつくしんぼ』に名称変更 (3) 援助会員フォローアップ研修 内容:子育ての昔と今ではどのように 違っている 講師:一般社団法人矢島助産院助産 師 藤田恵理子 氏 実施日:9月 12 日(受講者 15 名)	○ 援助会員のスキルアップを図るとともに、安全・安心な活動に取り組むことへの周知徹底が図れた ○ 援助会員フォローアップ研修では、ミレニアル世代やZ世代の子育てについて学び、援助活動に活かすことへ繋がった
3. 交流会	(1) 利用会員・援助会員交流会 内容:みんなでいっしょにお話あそび 講師:うさぎの森企画 大森靖枝氏 実施日:2月7日(参加者 12 名) (内訳:利用会員2名(子3名)援助会員 6名(子1名))	○ 子どもの参加もあり、和やかな雰囲気の中で、利用会員・援助会員相互の交流を目的に開催をすることができた

(2)事業説明会

項目	事業実績	事業効果・評価等
1. 事業説明会	(1) 市が実施する『産婦・育児相談』『乳幼児母性健康相談』の会場に出張し、相談と登録説明 ※表1-(1)参照 (2) こっこっこ月間 開催日:7年1月 11 日 (土曜日出張相談窓口に合わせてイベント開催) (3) ベビーグッズ XChange および登録説明会 開催日:月1回 場所:ina21 国分寺西恋ヶ窪店店舗前 ※表1-(3)参照	○ 事業説明会に何うと昨年度に比べ、既会員が多く事業の利用促進が図れていると思われた ○ 新たな試みとして、イベントも兼ねた登録説明会を定期開催したことで、事業を周知する場となった
2. 親子ひろば等での出張説明会	(1) 出張登録説明会 ※表2-(1)参照	○ 親子ひろば等に出張し、登録説明会を行うことで、ひろばスタッフとも連携を深めることができた

3. 土曜日出張相談窓口	(1) 土曜日出張相談窓口 開催日:月1回午前中 場所:セミナールーム ※表3-(1)参照	○ 事業の広報啓発や利用会員登録、会員に向けて日頃の活動相談や新規活動依頼相談、登録変更手続きが行えた ○ 7年1月はイベントも兼ねて午後も開催し、事業の周知が図れた
--------------	--	--

1-(1)

『産婦・育児相談』

※8月16日 台風のため中止

日程	対応数	登録者	登録書配布	備考
4月10日	18名	5名	4名	
5月8日	16名	7名	0名	
6月12日	23名	12名	1名	登録内容変更者2名
7月10日	20名	10名	0名	
9月11日	14名	5名	2名	登録内容変更者1名
10月11日	24名	5名	2名	登録内容変更者1名
11月13日	18名	6名	0名	登録内容変更者1名
12月11日	36名	9名	0名	登録内容変更者1名
7年1月10日	28名	4名	4名	登録内容変更者1名
7年2月14日	31名	2名	3名	
7年3月12日	19名	4名	0名	登録内容変更者2名

『乳幼児母性健康相談』

日程	対応数	登録者	登録書配布	備考
4月9日	7名	0名	3名	
5月7日	22名	2名	1名	
7月9日	27名	1名	9名	
8月3日	25名	3名	10名	
9月10日	39名	2名	4名	
11月12日	31名	0名	8名	
12月10日	37名	4名	6名	
7年2月4日	55名	1名	9名	登録内容変更者2名
7年3月11日	25名	1名	1名	登録内容変更者2名

1-(3) ベビーグッズ XChange および登録説明会

日程	対応数	登録者	備考
4月10日	38名	5名	登録内容変更者1名
5月13日	9名	2名	
6月1日	11名	1名	
7月27日	14名	1名	
8月8日	5名	1名	
9月5日	13名	2名	
10月7日	9名	2名	登録書配布1名
11月16日	11名	0名	
12月14日	13名	0名	
7年1月15日	6名	0名	登録書配布5名
7年2月17日	16名	0名	
7年3月1日	7名	0名	

2-(1)出張登録説明会

名称	日程	対応数	登録者	備考
恋ヶ窪保育園 きてみてあそぼう	5月9日	3名	1名	
東部地区拠点親子ひろば	6月14日	7名	5名	登録書配布1名
プレイステーション親子ひろば	7月3日	5名	4名	
子育て広場ぶらんこ国分寺	7月9日	1名	1名	
北町親子ひろば	8月9日	0名	0名	※ひろば来所者なし
コアラッコ Club	9月2日	8名	2名	
ひがしこいがくぼ3丁目 よくこう親子ひろば	9月10日	8名	2名	登録書配布1名
市民室内プール親子ひろば	9月30日	2名	1名	
西部地区拠点親子ひろば	10月9日	5名	1名	
青空ひろば元町公園	11月13日	6名	3名	
ぼうけんもり	11月14日	11名	2名	登録書配布1名
青空ひろば窪東公園	11月27日	7名	0名	
東部地区拠点親子ひろば	12月11日	8名	1名	
プレイステーション親子ひろば	7年2月4日	7名	3名	
ひがしこいがくぼ3丁目 よくこう親子ひろば	7年3月13日	4名	2名	

3-(1)土曜日出張相談窓口

日程	対応数	登録者	登録用紙配布	備考
4月6日	12名	2名	2名	登録内容変更者1名
5月18日	11名	2名	1名	
6月1日	14名	3名	1名	登録内容変更者1名
7月27日	11名	4名	1名	登録内容変更者1名
8月3日	12名	3名	0名	
9月14日	10名	2名	0名	
10月19日	8名	2名	1名	
11月16日	7名	2名	1名	
12月14日	6名	0名	0名	登録内容変更者1名
7年1月11日	15名	2名	0名	
7年2月8日	20名	3名	0名	
7年3月1日	13名	2名	1名	登録内容変更者2名

(3)広報活動

項目	事業実績	事業効果・評価等
1. ファミサポ通信 市報の活用	(1) ファミサポ通信【年2回発行】 ※8月(内容:研修案内、令和5年度 援助活動報告等) ※7年1月(内容:事業所変更のお知らせ、 更新手続き案内、援助会員 アンケート結果報告等) (2) 市報 ※掲載号:4月1日号、9月1日号、 7年1月1日号 内容:援助会員講習会開催案内 ※掲載号:7月15日号 内容:ベビーグッズ XChange および登録説明会案内	○ 利用会員および援助会員への情報提供が行えた ○ さまざまな手段で広報を行うことにより、幅広い層の市民の方に事業内容の普及啓発が図れた

	(3) 市の電子掲示板、デジタルサイネージでの会員募集	
2. 国分寺子ども・子育て支援円卓会議への参加	(1) 円卓会議(7月、2月は開催なし)(開催日) 4月9日、5月14日、6月4日、8月6日、9月3日、10月1日、11月5日、12月3日、7年1月14日、3月4日 (2) 地区連絡会 中央地区連絡会 開催日:7月12日 西部地区連絡会 開催日:7月17日 東部地区連絡会 開催日:7月26日	○ センターの情報提供や市内の子育て支援活動を行う団体等と情報交換が図れた ○ 地区連絡会では、地区の課題について話し合いを行い、それぞれの団体の課題を共有し地域の中での役割やこれからできることを見出せた

(4)会員管理業務

項目	事業実績	事業効果・評価等
1. 援助会員・利用会員の更新	(1) 更新対象援助会員 107 名、更新対象利用会員 184 名に更新手続の案内を9月26日発送した 【更新申請者】 援助会員 50 名、利用会員 33 名 【退会申請者】 援助会員 15 名、利用会員 30 名	○ 例年、増加傾向だった会員数が、7年度からの事業所変更に伴い、それを理由に退会をする会員や登録を躊躇される方が目立ち、会員数が減少した
2. 補償保険への加入	(1) 活動中の事故に備え、一般財団法人女性労働協会の「地域子育て支援補償保険」に今年度も引き続き加入した(補償保険申請0件)	○ 事故には繋がらなかったが、子どもの不安全な行動や援助会員の活動忘れ等のヒヤリハット報告が11件挙がった
3. 会員管理ソフト「ファミサポくん」の活用	(1) 「ファミサポくん」を使用し、会員情報の管理や援助活動報告書等を基に活動管理および統計管理を行った	○ コーディネート業務の効率化と迅速化が図れた ○ 統計資料の作成や活動の特性を把握することができた

(5)所管課

項目	事業実績	事業効果・評価等
1. 所管課との定例協議会の開催	(1) 定例協議会未開催	○ 例年3回開催しているが今年度で委託事業終了に伴い開催せず
2. 苦情への対応業務	(1) 利用会員より援助会員との雇用関係について1件苦情相談あり	○ 市の担当部署と連絡調整を図り、速やかに解決に努めた

(6)アドバイザーの研修

項目	事業実績	事業効果・評価等
1. ファミリーサポートネットワークへの参加	(1) ファミリーサポートネットワーク事業に加入 (2) 一般財団法人女性労働協会主催 開催日:10月25日 内容:ファミリー・サポート・センター事業における配慮が必要な家庭	○ 最新情報を学ぶとともに、情報収集・情報交換が行えた ※近隣市ファミリー・サポート・センターアドバイザー交流会(12月18日)については、7年度からの新事業所に引継ぐため、所管課の市職員が参加

	への支援の在り方について	
2. 研修への参加	(1) 市防災安全課主催 開催日:11月5日 内容:妊産婦、乳幼児と保護者の 防災対策について	○ アドバイザーのスキルアップおよび、市内親子ひろば等と情報共有が図れた ○ 利用会員・援助会員の安全・安心な活動に繋がられた

(7)会員および援助活動状況

1. 利用会員・援助会員の登録状況

区分	登録会員数	備考
利用会員	1,426 名	前年度比 24 名減
援助会員	269 名	前年度比 5 名増
両方会員	5 名	前年度比 2 名減
合計	1,700 名	前年度比 21 名減

2. 事前協議実施回数及び援助活動実施件数

内容	回数および件数	備考
事前協議実施回数	224 回	前年度比 13 回増 (土曜日実施回数:13 件)
援助活動件数 (依頼件数)	5,473 件 (キャンセル件数 708 件含む)	前年度比 137 件増 (キャンセル件数前年度比 103 件減)
援助活動実施件数	4,765 件	前年度比 240 件増

3. 援助活動状況

活動区分	主な活動内容	活動件数
保育園・幼稚園	園への送り、登園前後の預かりおよび送迎	1,530 件
小学校	登校前・放課後の預かりおよび送迎	212 件
学童クラブ	学童クラブの迎えおよび帰宅後の預かり	48 件
その他(子ども)	習い事の送迎等	719 件
	保育園・学校等休業時の援助	5 件
	障害のある子への援助	335 件
	他の子どもの用事時の援助(学校行事含む)	205 件
その他(保護者)	保護者の外出時(リフレッシュ、研修等)の援助	318 件
	保護者就労時等の援助	362 件
	産前産後(概ね2ヶ月)の援助	213 件
	保護者在宅時の預かり	718 件
その他	慣らし援助・確認活動等	100 件
合 計		4,765 件
小計 (厚労省活動報告件数)		預かり:2,392 件送 迎:2,543 件

※援助活動状況のうち、複数預かりは次のとおり

区分	活動件数	備考
兄弟姉妹のみ	1,338 件	前年度比 92 件増
双子・三つ子	184 件	前年度比 14 件増
合計	1,522 件	前年度比 106 件増

※援助活動状況のうち、ひとり親家庭の状況は次のとおり

(ひとり親家庭の場合、優先的に調整しています)

区分	活動件数	備考
ひとり親家庭	111 件(7世帯)	前年度比 36 件増(1世帯減)

4. キャンセル件数

区分	件数	備考
利用会員からのキャンセル	606 件	前年度比 118 件減
援助会員からのキャンセル	102 件	前年度比 15 件増
合 計	708 件	

(8)その他

項目	事業実績	事業効果・評価等
1. 子育て支援情報の提供	(1) ホームページや Facebook での適宜情報発信	○ 随時、登録説明会やイベント案内等を発信することができた
2. イメージキャラクターの活用	(1) ファミサポのイメージキャラクターを会員手引きやリーフレット、広報用チラシ等に活用	○ 積極的な活用により、広報活動の充実が図れた

[総務課 総合企画係]

1. ボランティアセンター担当

ボランティア活動や市民活動・まちづくりに関する総合の相談窓口、情報の発信、活動の拠点などさまざまな機能があり、ボランティアをしたい人(団体)と、してほしい人(団体)のコーディネートを行った。

(1) ボランティア・市民活動の推進

事業内容	事業実績	事業効果・評価等
1. ボランティア活動センターこくぶんじの運営	○ ボランティア活動の相談・コーディネートを実施した。 *施設・団体:44件 (継続13件、単発31件) *個人:34件※見守り・相談のみも含む (継続25件、単発9件) ○ 「ここねっとサポーター制度」設置 *登録者:461名(新規101名) ○ アドバイザーを設置し、運営に関する助言を得た。	○ 円滑に相談・コーディネートを遂行できるよう調整を行う事で、新規登録者増加につながることができた。
2. 「ボランティア活動センターこくぶんじ運営委員会」の設置	○ ボランティア活動センターのより良い運営のために、市民参画による委員会を年6回開催した。	○ 毎年実施をしていたシンポジウムを令和7年度の実施に向け、内容を検討した。
3. 「団体登録制度」の実施	○ ボランティア・市民活動団体の相互の情報交換や協力、連携を推進し、活動がより効果的に展開することを目的として「団体登録制度」を実施した。 ○ 「登録団体連絡会」の開催(年2回) ①第1回 7月11日 ②第2回 令和7年2月7日 会場:リオンホール	○ 「登録団体連絡会」の開催により、登録団体同士の情報交換、団体運営の課題等の抽出に至った。 ○ 1回目は、36団体・33名、2回目は、29団体・30名の参加があった。
4. 「いきいきふれあいサロン」活動支援	○ ボラセンの登録団体に位置づけ、高齢者や障害者、子育て中の親などが地域で孤立することを予防するために、「いきいきふれあいサロン」の立ち上げや活動の支援を行った。	○ 登録団体連絡会等で、活動の継続に向けての方針を団体自身で考えるきっかけを作ることができた。
5. 「ここねっと推進助成事業」の実施	○ 「歳末たすけあい・地域福祉活動募金」の翌年度使用分を財源として、国分寺市内で地域福祉活動の推進を目的に取り組んでいる登録団体に助成を行った。 ○ 申請および助成内容について *PR・説明会関係 ・パンフレット及び、申請書をVCホームページで案内した。また、全登録団体へ事業のパンフレットを送付した。 (助成金説明会)	○ 活動に必要な助成を行うことで、各団体が行う市内地域福祉活動の推進に繋がった。

	・開催日:令和7年2月 20 日 ※第1回登録団体連絡会と併せ実施 (受付期間) ・前期:3月 11 日～4月 11 日 ・後期:8月1日～8月 30 日 (助成金審査会) ・前期:4月 24 日 ・後期:9月 17 日 ・会場:VC2階会議室 (助成団体数) ・日常活動費(計6件 234,000 円) ・イベント費(計6件 240,000 円) ・立上げ費(計3件 86,800 円)	
6. 会議室の貸出	○ ボランティア・市民活動支援の一環として、登録団体、会員会費の協力自治会・町内会や老人クラブ、社協団体会員等を対象に会議室の無料貸出を行った。	○ 年間延べ貸出件数 621 件 (内訳) 登録団体 359 件 福祉関係団体 15 件 社協関係 247 件 ○ コミュニティスペースの充実につながった。
7. 地域ふれあい活動 備品・図書の貸出	○ ボランティア・市民活動支援の一環として、登録団体、会員会費の協力自治会・町内会や老人クラブ、社協団体会員等を対象に備品等の無料貸出を実施。なお、上記対象団体以外の利用は有料。 *地域ふれあい活動備品 (1) 貸出件数 87 件 ① 無料 .. 86 件 ② 有料 .. 11 件 (2) 貸出機材・備品個数 2,684 個 *貸出図書.. 1件	○ 地域活動やイベントに必要な機材・備品の貸出を行った。
8. 「車いす貸出事業」 の実施	○ 怪我や病気、介護保険の申請前等、車いすの必要な方に貸出期間最長3か月間無料で貸出を実施。 貸出件数 112 件 (VC 46 件、社協事務局 66 件) ○ 車いすステーションの設置(46 か所) 貸出件数:380 件 ○ 「車いす整備ボランティア」により定期的(月2回)点検・整備を行った。	○ 多くの方に活用いただけるように貸出期間と保有台数の見直しを行った。
9. 「ボランティアステーション」の設置	市内の事業所や個人宅等の協力により下記内容を協力いただく「ボランティアステーション」を設置した。 ① 車いすステーション設置(貸出期間:最長2週間 料金:無料) 協力件数 46 件(新規2件) ② ふれあい募金箱設置 ③ 自動販売機設置	○ ボラセンの担当は、主に①・⑤・⑥

	④ 社会福祉だより「ふくし」配架 ⑤ ポスター、チラシ等掲示 ⑥ その他(空きスペース等の活用他)	
10. ボランティア保険等の加入受付	(1) ボランティア保険の受付業務を行った(前年度より178人減少)。 (2) 東京都社会福祉協議会の行事保険受付業務を行った。 *行事保険受付件数 132件 *当日参加対応型 行事保険受付件数 52件	○ ボランティア活動を安全安心に行うために、ボランティア保険の加入を促した。 ○ 保険料の支払い方法の変更を昨年から周知し、振込の手続きが定着してきた。

※(1)-8-(1)【ボランティア保険プラン別加入状況】

基本コース			天災コース			加入者総数(人)
Aプラン	Bプラン	Cプラン	Aプラン	Bプラン	Cプラン	
2,067	77	7	2,590	4	2	4,747

(2)広報活動事業(情報収集・発信)

事業内容	事業実績	事業効果・評価等
1. ボランティア活動ガイドブック「ようこそボランティアの家へ」の発行	(1) ボランティア活動の内容や登録団体等を掲載した、ガイドブックをホームページ上でも閲覧できるように掲載した。	○ ボラセン事業、登録団体等について、一冊で理解を得ることが出来る。
2. ボランティア・市民活動の情報提供	(1) 社会福祉だより「ふくし」で、広く市民に周知したいボランティア・市民活動の情報提供を行った。	○ ボラセン事業の理解促進につながった。
3. 「ボランティア活動センターこくぶんじ」のPR強化	(1) ボラセンの公式ホームページを運営し、ボランティア・市民活動のPRと情報提供を実施。さまざまなSNSの有効活用を行った。	○ プロバイダー都合のため、メールマガジンが届かない登録者へ、アンケートの実施と個別配信にて対応した。
4. ロゴマークの活用	(1) 「ロゴマーク」の活用	○ 積極的に活用し、ボラセンの広報活動の充実を図った。

(3)研修・講座等によるボランティア活動の普及・推進

事業内容	事業実績	事業効果・評価等
1. 「2024 夏体験ボランティア」の実施(7月～9月)	学生を中心に、夏休み等を利用してボランティア学習や活動体験の機会を提供した。 ○体験期間:7月22日～9月30日 ※例年に比べて1か月期間延長 ○活動場所:市内の高齢者・障害者・児童関係施設やボランティア・市民活動団体、NPO法人等 ○参加者:109名(延べ256名) ○活動プログラム:67件(参加があったのは46件) ※猛暑のため2件中止 ○参加者説明会 ・開催日:6月30日(57名参加)	○ 受入施設向け説明会を数年ぶりに開催したことで、施設側とつながりを作ることができた。 ○ 学生以外の参加者も多く、国分寺のまちづくりや地域活動への一歩とすることが出来た。

	※随時個別に対応(75名参加) ○受入施設 62件(昨年度 49件) ・受入施設説明会(ハイブリッド開催)を 6月6日・7日に実施し、31名が参加	
2.「ふくし体験プログラム」の実施	市内の小中学校の総合学習の一環として、また、自治会・企業等の福祉の理解を深めることを目的に、ボランティアや市民活動団体等と協働し実施。 ※別紙参照	○ 依頼に基づき、調整し活動内容によっては協力者・団体とともに実施した。 ○ 協力団体や協力者へ謝礼の必要性を周知し、多くの学校等にご用意いただいた。
3.「ボランティア講座」の開催	○新たな福祉課題の情報発信や人材育成のために、「地域とつながるはじめての一步ボランティア入門講座」を開催した。 日時:6月2日 午後2時～4時 会場:リオンホール 参加:一般、社協職員他 合計 31名	○ 初めてボランティアに参加する方、コロナ禍で活動を控えていた方等の掘り起こしを行い、実際に活動している先輩ボランティアの話を聞き、活動を促すことができた。 ○ 広く市民に呼び掛け、ボランティアに関わるきっかけづくりの場となった。 ○ 終了後も実際のボランティア参加につなげるアプローチを実施し、活動に繋がることができた。

※(3)-2-(1)「ふくし体験プログラム」実施一覧表

No.	学校	学年	実施日	校時	分野	内容
1	第一小学校	3	10月24日	2～3	障	視覚障害者の話・ガイドヘルプ
2		4	令和7年3月4日	6	障	オストメイト
3	第二小学校	4	10月10日	3～4	障	視覚障害者の話・点字体験
4		3	10月31日	3～4	障	聴覚障害者の話・手話体験
5	第三小学校	3	9月25日	2～4	障	視覚障害者の話・点字体験
6	第五小学校	4	令和7年2月6日	2～3	障	視覚障害者の話・ガイドヘルプ
7	第六小学校	5	12月11日	2～4	障	車いす体験
8		4	令和7年1月30日	3～4	障	聴覚障害者の話・手話体験
9	第七小学校	3	6月20日	3～4	障	聴覚障害者の話・手話体験
10		3	6月27日	3～4	障	視覚障害者の話・ガイドヘルプ
11	第八小学校	4	令和7年1月14日	5～6	障	視覚障害者の話・ガイドヘルプ
12	第九小学校	3	10月10日	3～4	障	聴覚障害者の話・手話体験
13		4	11月29日	3～4	障	視覚障害者の話・点字体験
14	いずみホール	職員	令和7年2月3日	14時～15時	障	視覚障害について

協力:特定非営利活動法人 視覚障がい者ネットワークコトリナ、手話サークル国分寺、けやきの会、点字あゆみの会、鈴木さん

(4)「ここねっと」の啓発・推進

事業内容	事業実績	事業効果・評価等
1.「ここねっと」の啓発・	(1) 市内のイベントや行事・会合に参	○ 地域の状況や問題・課題を

推進	加した。	把握することができた。
2.「地域支え合い活動（見守り・声かけ活動）」の推進	(1) お互いに「見守り・見守られる」関係であることを意識した「地域支え合い活動」の推進にあたり、協力者には、黄色の腕章の貸出を行った。	○ 市内小学校の入学説明会の際にチラシを配付することで、地域活動の周知となった。

※(4)-1-(1)

①連絡調整活動・ボランティア関係連絡会・研修会等への参加(オンラインでの参加含む)

研修会名等	日程
国分寺障害者団体連絡協議会受託事業委員会	4月8日、5月16日、6月17日、8月22日、9月30日、12月9日、7年2月10日
能登半島被災者支援プログラム説明会	4月11日
区市町村ボランティア・市民活動推進団体事務局連絡会議	4月17日、7月25日、10月15日
区市町村ボランティア・市民活動推進機関 災害担当者会議	4月17日、7年2月4日
「夏の体験ボランティア事業」連絡会	4月17日、10月15日
災害協働サポート東京(CS-Tokyo)運営委員会	4月19日、8月2日、7年1月10日、3月7日
国分寺青年会議所ぶんじ子どもフェスタ 2024 全体会議	4月23日
国分寺市小中学校長会	5月1日
もとまち地域会議	5月14日
国分寺市商工会連合会会議	5月20日
もとまち公民館運営サポート会議	5月22日、7月24日、9月18日、11月20日
東京都災害 VC アクションプラン推進会議	5月23日、7月23日、7年1月24日
国分寺市(重層)支援会議	5月23日
北多摩西部ブロックボランティア担当職員連絡会(幹事:当社協)	5月24日、8月1日、9月11日、12月13日、7年3月12日
国分寺市公民館運営審議会	5月24日、7月26日、8月23日、10月25日、7年2月28日、3月26日
五中学区地域懇談会(国分寺市青少年育成北地区委員会主催)	6月17日
第九小学校防犯防災委員会	6月18日
JCコックログ座談会	6月20日
区市町村ボランティア・市民活動センター長会議	6月21日、12月4日、7年2月20日
オンラインサードブレイス実行委員会「不登校の先輩の話を聞いてみよう」	6月22日
東大和市社協 災害ボランティアセンター訓練	6月22日
本多地域会議	6月25日、8月2日
東京学芸大学ボランティア説明会	6月26日
ぽかてら(生きづらさを抱えた当事者の居場所)	6月28日
地域福祉推進協議会	7月1日、7年2月25日
第六小学校見守り交流会	7月8日
ぶんぶんウォーク 2024 実行委員会	7月16日、11月5日

ローカルテーブル「フードドライブ」	7月 26 日
国分寺市担い手・介護予防推進員共通研修	7月 30 日
地域福祉コーディネーターと福生市社協の情報交換会	8月 8 日
国分寺地区連絡協議会(四者協)	8月 27 日
社協職員基礎研修	10 月 31 日、11 月 15 日、12 月 11 日
おとなりさん。けやき公園(デイサービス)運営推進会議	11 月 19 日
東京経済大学インターシップ成果報告会	11 月 20 日
IT プロボノ研修 企業ボランティア・プロジェクト 2024～災害時に備えた地域 VC と IT 企業との連携～	11 月 28 日、12 月 3 日
第二中学校 1 年生「国分寺調査」対応	11 月 29 日
民生委員・児童委員協議会定例会	11 月 29 日
市民がつくる講座「サンバの楽器を作って鳴らそう」	12 月 1 日
民生委員・児童委員および地域福祉コーディネーター地区懇談会	12 月 27 日
区市町村 VC に関する意見交換会	12 月 27 日、7年1月 10 日
羽村市視察研修受け入れ(見守り訪問事業)	7年1月 17 日
「体験 はじめての障害者支援ボランティア」講座	7年1月 18 日
並木の会	7年1月 18 日
第 3 回 企業 & 社員のための社会貢献セミナー 2024 『災害時に備えた地域 VC と IT 企業との連携』	7年1月 24 日
第三小学校入学説明会(腕章活動説明)	7年1月 30 日
都内子ども食堂ネットワーク等担当者連絡会	7年2月 6 日
防災シンポジウム「大地震から 3 日間 自助・共助で生き残る」	7年3月 8 日
国分寺市子どもの居場所づくり関係者懇談会	7年3月 19 日

② イベント等への参加

イベント名	内容	日程
国分寺障害者団体連絡協議会 バスハイク	伊豆	5月 25 日
ぶんじ子どもフェスタ 2024	都立武蔵国分寺公園にてヨーヨーつり	7月 14 日
防災フェスタin国分寺	災害 VC の PR と防災グッズ選び	10 月 6 日
国分寺障害者団体連絡協議会 運動会	お楽しみ運動会	10 月 5 日
ふれあいまつり・もとまち	もとまち公民館にて点字体験	10 月 20 日
国分寺まつり	武蔵国分寺公園	11 月 3 日
ぶんぶんウォーク 2024	ワークショップ(書道・ヨーヨーつり)	11 月 23 日
国分寺障害者団体連絡協議会 歌と笑いの会	いずみホール	7年1月 5 日

(5)「ひとり暮らし高齢者等地域交流会」の実施

事業内容	事業実績	事業効果・評価等
1. 「ひとり暮らし高齢者等地域交流会」	(1) 地域交流会の実施(下表参照) (2) 連絡員会議の開催(年3回) 実施日:4月19日、10月18日、 令和7年3月14日	○ 新たな交流会の実施方法についてアンケートを実施した ○ 連絡員会議では、各会の課題や運営方法等の情報交換を行うことができた。

※令和6年度地域交流会地区別実施回数・参加人数

地域交流会名	地区	実施回数(回)	参加者(名)	ボランティア(名)	その他(名)	合計(名)
さつき会	東元町・南町	6	115	101	21	237
あずま会	本町・本多	8	145	47	62	254
こいがくぼ会	東恋ヶ窪1～3丁目	5	12	19	0	31
きたこい会	東恋ヶ窪4～6丁目	5	30	30	5	65
いずみ会	西元町・西恋ヶ窪・泉町	8	117	64	9	190
むらさき会	戸倉	5	75	48	10	133
すみれ会	日吉町・内藤	5	43	33	51	127
ささの会	東戸倉	8	35	35	7	77
たちばな会	新町・並木町・北町	6	100	48	14	162
ふれあい会	富士本・光町・高木町・西町	6	43	107	9	159
合計		62	715	532	188	1,435

(6)「見守り訪問事業」の実施

事業内容	事業実績	事業効果・評価等
1. 「見守り訪問事業」の実施	ひとり暮らしの高齢者や日中独居の方、その他高齢者に限らず見守りを必要とする方のご自宅を、見守りサポーター(ボランティア)が訪問した。 (1) 利用者数(年度途中中止者含む) 27名 (2) 年度末利用登録者数 22名 (3) 訪問活動を行ったボランティア数 19名 (4) 年間延べ訪問回数 357回 (5) 新規相談利用件数 12件 (6件訪問決定)	○ ひとり暮らしの高齢者や日中独居の方、その他高齢者に限らず見守りサポーター(ボランティア)が、見守りを必要とする方の自宅を訪問し、孤立・孤独の防止となった。

(7)「生活応援事業」の実施

事業内容	事業実績	事業効果・評価等
1. 食料無料配付・生活相談会の実施	(1) 4月から令和7年3月まで計12回、食品の無料配付と自立支援担当による暮らしの相談を行った。	○ さらなる市民への周知で新規利用63件につながった。

	※ 協力ボランティア:延べ 61 名 (2) 寄付金協力 23,442 円	○ 食品の受取のみで終わらず、根本的な解決に向けて3回に1回は定期面談を必須とし、状況把握につながった。
2. フードドライブの実施	家庭などで余った食品を寄付いただき、必要な方や地域の団体へお渡しした。市民や市内の食品店・企業などより協力いただいた。 ○ フードドライブ 寄付総重量 3025.3kg 配付総重量 3186.5kg	○ 市報やチラシ等でのフードドライブ周知により、協力いただける企業等が増え、回収設置場所増加につながった。

協力(順不同):市民の皆さん、生活協同組合パルシステム東京 府中センター、コープ国分寺内藤店、深田記念館 国分寺教会、日立製作所 中央研究所、第四小学校学童 colors、東京経済大学、早稲田実業学校、OZEC 国分寺、いなげや国分寺東恋ヶ窪店、ina21 国分寺西恋ヶ窪店、ふらっとぱれっと、ひょうたん島、内藤・日吉連合防災会、セレオ国分寺、JR 西国分寺駅、一般社団法人 国分寺青年会議所、国分寺障害者施設お仕事ネットワーク、一般社団法人 国分寺市健康福祉サービス協会

(8)「災害ボランティアセンター」への取組み

事業内容	事業実績	事業効果・評価等
1. 「災害ボランティアセンター運営マニュアル」の再検討	(1) 災害ボランティアセンター設置・運営訓練 実施日:11月30日 場所:国分寺市民スポーツセンター	○ 運営訓練を通じて、マニュアルの検証を行い、新たな課題や修正点が見つかった。今後修正を図る。
2. 「災害支援ボランティア登録制度」の設置・講座の開催	(1) 災害支援ボランティア登録制度設置及び、それに伴う講座の開催の実施に向け、関係機関等と検討を行った。	○ 市の担当課との定期的な情報共有等により、登録制度を進めていく際の連携を図っていく。
3. 「北多摩西部ブロック災害ボランティアセンター相互援助協定」に基づく連携	(1) 幹事社協として、担当者会議を開催し、情報交換等により、平時から連携を図った。 (2) 研修会(協同)の開催 日時:9月11日 午後1時～5時 会場:立川市総合福祉センター他 参加者:47名(社協、VC職員、VC運営委員等) 内容:①多摩直下地震 最大震度6強を想定。②災害ボランティアセンターでの聞き取り訓練③電話相談、現地調査(別室にて)、ニーズ票作成、振り返り・発表	○ 被災者の困りごとに寄り添い、ニーズとして受け入れ、コーディネートしていくことを共有した。また、色々な良い事例、良い取り組みをブロック内で共有し、持続可能な防災、減災の取り組みに繋げていく。
4. 「災害ボランティアセンター」資機材の整備	(1) 災害ボランティアセンター設置・運営訓練を通し、資機材の確認及び、動作確認を行った。	○ 定期的な点検、動作確認等を行っていく。また、劣化した備品の廃棄し、倉庫内の整備につながった。
5. 関係機関との連携強化	(1) 青年会議所と社協が締結した、「災害時における協力に関する協	○ 関係機関等と災害時の取り組みの共有や、情報交換を

	定」に基づき、平常時からの相互連携・協力のため、災害ボランティアセンター設置・運営訓練を合同で行った。 (2) 市担当課との情報共有	通じて平時からの連携強化が図れた
--	---	------------------

(9)その他

事業内容	事業実績	事業効果・評価等
1. 学生ボランティア等支援	(1) 早稲田実業学校(中等部1年生 231名)への支援 ① ボランティア講演会 開催日:6月10日 講師:枝見太朗氏(VC運営委員長) ② 総合的な学習の時間の一環で行われたボランティア活動先49件のコーディネートを実施した (活動日:7月11日・12日) (2) 東京経済大学 地域インターンシップ2名を、8～9月の5日間受入れを行った	○ ボランティア活動のきっかけづくり、他の事業への参加に繋がった。
2. 「国分寺市障害者団体連絡協議会企画実行委員会」への参加	(1) バスハイク(5月25日) ボランティア調整:1名 (2) お楽しみ運動会(10月5日) 職員1名が参加	○ 職員出席により、障害団体との連携・関係構築ができた。
3. 通年受付の自宅でできるボランティアの実施	(1) 不要になった本・CD・DVD・ブルーレイ等の回収 ※ 査定金額の21,520円が本会に寄付された (2) ウェス作成の呼びかけと受取り	○ 市内外の個人および企業からウェスの寄付を受け、必要とする市内高齢者施設などへ届け、活用した。

2. 介護支援ボランティア担当(国分寺市元気高齢者地域活躍推進事業・国分寺市委託事業)

高齢者が、ボランティア活動を通して地域貢献することを推奨及び支援し、高齢者自身の社会参加活動を通じた介護予防の実現、生きがいづくりの促進を目的として実施する。

事業内容	事業実績	事業評価・効果等
1. 介護支援ボランティア事業の実施	(1) 説明会・・・6回実施(於:VC) 6/25 参加者 12名 登録 11名 7/23 参加者 3名 登録 3名 9/4 参加者 32名 登録 1名 9/24 参加者 3名 登録 3名 10/29 参加者 1名 登録 1名 11/26 参加者 6名 登録 6名 57名 登録 25名 ※9/4は講演会同時開催 (於:リオンホール)	○ 登録者のボランティア保険を自動加入にしたことにより、介護支援ボランティア登録のきっかけとなった。 ○ 説明会を6月～11月に毎月開催し、周知および登録者の拡大につながった。 ○ 説明会時およびその後に、登録者の希望や疑問の聞き取りを行い、受入施設側との

	出張説明会・・・3回実施 4/18 本多公民館 登録 7名 4/22 ひかり公民館 登録 8名 <u>7/18 ひかり公民館 登録 8名</u> 登録 23 名 ➤ 年間新規登録者数 77 名 登録者総数 113 名 ➤ 換金希望者 50 名 換金額合計 107,700 円	調整をすることで、実際の活動件数を増やすことができた。 ○ 上記に伴い、換金希望者と換金額も大幅に増加した。 ○ 今後は、受入施設側の要望や、実情をさらに細かく聞き取り把握することでボランティア活動をしやすい環境の整備を目指す。
	(2) 講演会の実施 日時:9/4(水) 午後 2 時～4 時 場所:リオンホール 講師:清水孝幸氏 (東京新聞事業局長) 参加者:32 名	○ 講師を、「定年が楽しみになる！オヤジの地域デビュー」の著者である清水氏をお招きし、幅広い参加者を募ることができた。今後の講演会時は更に集客に力を入れたい。
	(3) 担当所管課である高齢福祉課との会議 実施回数:2回 実施日:10/11(金)、R7/2/27(木)	○ 半期ごとの実績報告と、進捗状況、課題等について確認した。
2. 受入先の確保	(1) 登録施設数 :34 件 実受け入れ施設数 :15 件 活動回数(延べ) :1,964 回	○ 登録者の増加に伴い、活動回数は増加したが、活動者がいない登録施設には、活動者を紹介できるようにすることが必要。
3. 施設・ボランティアの相談受付	(1) 介護支援ボランティアおよび受け入れ施設等からの電話相談、窓口での相談を行った。	○ 受入施設への活動希望者紹介の際、再度、目的・流れについて、電話および訪問にて再説明を行い連携が強化された。

[地域福祉課 相談支援係]

1. 地域福祉コーディネーター担当(国分寺市委託事業)

地域におけるあらゆる相談に幅広く対応するほか、どこに相談したらよいかわかりにくい相談を受け止め対応をし、必要に応じて適切な支援関係機関につなぎ支援を行った。また、市及び関係機関やボランティア等と連携・協力しながら、個別支援・地域支援を一体的に取り組んだ。

(1) 総合相談支援業務

(2) 継続的・専門的な相談支援業務

事業内容	事業実績	事業効果・評価等
1. 総合相談	(1) 個別支援 相談件数 ＊継続相談件数:41 件 東区域:24 件 西区域:17 件 ＊新規相談件数:150 件 東区域:94 件 西区域:56 件 (2) 地域支援 相談件数 ＊継続相談件数:36 件 東区域:11 件 西区域:25 件 ＊新規相談件数:118 件 東区域:59 件 西区域:59 件	○ 前年比として個別支援新規相談件数は 130%、地域支援新規相談 108%と、いずれも増加した。
2. 福祉の総合相談窓口(旧市役所第2庁舎1階→新市役所2階 地域共生推進課窓口)	(1) 個別支援 ＊新規相談件数:49 件 市役所:27 件、出張窓口(※):5件、その他:17 件 ※にわには(第4木曜日)、坂の上のひとつ(第2土曜日) (2) 地域支援 ＊新規相談件数:4件 市役所:2件、出張窓口:2件、その他:0件	○ 相談者の属性に関わらず包括的な相談を受け止めた。 ○ 出張相談窓口を設置し、身近な場所で相談に対応できた。 ○ メール相談で8件の新規相談に対応できた。

【個別支援】

① 新規相談件数

区域\月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
東	6	9	11	11	5	8	10	5	7	6	7	9	94
西	9	4	5	8	3	6	1	4	6	3	3	4	56
合計	15	13	16	19	8	14	11	9	13	9	10	13	150

②相談経路

区域	本人	親族	友人・知人	行政（福祉）	社会福祉協議会	地域包括支援センター	居宅介護支援事業所	障害者支援機関	医療機関	民生委員・児童委員	自治会・町内会	近隣住民	その他	合計
東	41	17	1	6	6	3	1	5	0	2	1	6	5	94
西	19	13	0	10	1	2	0	2	1	2	1	0	5	56
合計	60	30	1	16	7	5	1	7	1	4	2	6	10	150

③相談方法

区域	電話	来所	訪問	メール	立ち話	その他	合計
東	47	19	2	8	12	6	94
西	37	10	0	5	3	1	56
合計	84	29	2	13	15	7	150

④相談内容及び背景にある課題

区域	病気・けが（疑い含む）	身体障害（疑い含む）	知的障害（疑い含む）	精神障害（疑い含む）	外国籍	自殺企図	依存症	虐待	養育困難	家庭での不登校	非行	家庭内暴力	家族が不仲	認知症	在宅介護が困難	ひきこもり	孤立	ニート	失業・リストラ	就労不安定	借金・多重債務	経済的困難	親の年金頼みで子が無職	住まい不安定	近隣住民とのトラブル	その他	合計
東	27	4	14	33	1	0	1	1	0	5	1	3	11	9	6	12	22	1	2	5	7	27	3	2	5	60	262
西	6	2	4	13	3	1	0	0	1	3	1	2	7	5	7	5	1	1	0	4	5	10	2	2	3	28	116
合計	33	6	18	46	4	1	1	1	1	8	2	5	18	14	13	17	23	2	2	9	12	37	5	4	8	88	378

⑤複合的な課題を抱えた相談件数:105 件(東区域:69 件、西区域:36 件)

⑥連携先

区域	行政	社会福祉協議会	生活困窮	介護	障害	子ども・子育て	保健医療	雇用	権利擁護	地域	商工関係	その他	合計
東	66	26	27	37	19	2	25	1	15	22	3	28	271
西	45	11	15	19	10	2	10	1	3	11	1	27	155
合計	111	37	42	56	29	4	35	2	18	33	4	55	426

【地域支援】

① 新規相談件数

区域	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
東	5	10	4	7	4	2	2	4	1	3	11	6	59
西	8	6	9	7	4	0	2	5	1	6	4	7	59
合計	13	16	13	14	8	2	4	9	2	9	15	13	118

② 連携先

区域	(福祉行政)	(福祉行政以外)	社会福祉協議会	介護	障害	子ども・子育て	保健医療	地域	その他	合計
東	26	17	47	26	6	2	4	46	92	266
西	38	13	40	20	0	3	5	37	97	253
合計	64	30	87	46	6	5	9	83	189	519

(3)地域におけるネットワークの構築

事業内容	事業実績	事業効果・評価等
1. 教育分野との連携	(1) 不登校支援懇談会への支援 開催日:令和7年2月15日 会場:本多公民館 参加者:33名	○ 不登校の子どもやその親のサポートがする取り組みを行うことができた。
2. コーディネーター連絡会	(1) 重層的支援体制整備事業講演会と合同で開催とした。	○ 支援関係機関との連携強化、地域福祉コーディネーターの活動内容の周知を行うことができた。
3. 民生委員・児童委員との懇談会の開催	(1) 民生委員・児童委員との懇談会 開催日:12月27日 会場:リオンホール 参加者:42名 内容:地域活動の事例紹介、民生委員へのインタビュー、グループワーク等	○ 地域活動に関わる民生委員・児童委員との連携強化を図った。 ○ 顔見知りの関係となり、相談しやすい関係となった。
4. 空き家活用	(1) 市まちづくり推進課と空き家活用の打ち合わせを行い、マッチングの仕組みづくりを取り組んだ。	○ 空き家活用の相談を受けた際のアセスメントシートを作成し、行政と共有し連携強化を図った。
5. 既存の会議体や地域活動への参加	(1) 包括もとまち圏域:45回 (2) 包括こいがくぼ圏域:15回 (3) 包括ほんだ圏域:34回 (4) 包括ひよし圏域:39回 (5) 包括ひかり圏域:47回 (6) 包括なみき圏域:45回 (7) 国分寺市全域・市外:130回	○ 各分野の状況・ニーズ把握をすることで、様々な社会資源の参画・連携を模索し取り組んだ。
6. 社会資源の把握	(1) 地域アセスメントシートの作成し、地域福祉Coが把握している社会資源を整理した。	○ 地域アセスメントシートを作成したことで、社会資源の整理や共有がしやすくなった。

(4)多機関協働事業等

事業内容	事業実績	事業効果・評価等
1. 多機関協働事業等	(1) 支援会議の開催 *開催回数:9回	○ 関係機関と情報の把握共有す

	(2) 重層的支援会会議の開催 ＊支援プラン作成の対象者世帯がなかったため、開催なし。	ることで、現状の把握と今後の対応について検討した。 ○ 関係機関との連携や状況把握をし、進行管理をすることで、対象者への関わり方を整理することができた。
2. 担当者会議	＊開催回数:12回 ＊開催場所:旧市役所(書庫棟、プレハブ第1会議室等)、新市役所会議室	○ 事業推進に向けて所管課の地域共生推進課と打ち合わせができた。

(5)生活困窮者支援等のための地域づくり事業

事業内容	事業実績	事業効果・評価等
1. 重層的支援体制整備事業講演会	(1) 重層的支援体制整備事業講演会 開催日:令和7年2月20日 会場:いずみホール A ホール 参加者:88名 講師:犬丸 智則氏(厚生労働省・社会援護局地域福祉課) テーマ:国分寺市が目指す地域共生社会	○ 包括的な支援体制構築に向け、国の動向や市の現状を紹介し、事業の周知及び連携強化を図ることができた。
2. 団体支援	(1) 神社でつながちいきのわ ＊活動回数:5回 ＊令和5年5月より住民主体の活動を継続していることを確認し、支援を終結とした。 (2) 国分寺市の高齢者と動物の問題を考える連絡会準備会 ＊活動回数:1回 ＊立ち上げ支援を行ってきたが、住民主体での活動継続を確認したため、支援を終結とする。なお、動物に関する相談があった際には、従来通り連携を図ることとした。 (3) にわには ＊活動回数:3回 ＊住民主体で活動・運営ができていることを確認したため、支援を終結とした。 (4) 並木町の防災会準備会 ＊後方支援を行ってきたが、住民主体で活動を継続していることを確認し、支援を終結とした。 (5) 国分寺高校「令和5年度みんなで考える地域の交通安全」 ＊国分寺高校生の希望により、令和6年度は未実施となり支援を終結とする。なお、国分寺高校から新たな企画に関する相談があった際には、改めて連携を図ることとした。	○ 地域の様々な団体に対して、立ち上げ支援、運営支援等を行った。 ○ 立ち上げ支援を行った団体が住民主体で活動を継続しており、団体の自立を図ることができた。

	(6) ひとつの会居場所づくり *活動回数:20回(ひとつの会イベント、高齢者向けの居場所づくり等も含む) *団体の運営体制、会則、利用規約等の見直しやメンバー間の調整等の支援を行った。 (7) ぽかぽかてらす(ひきこもり当事者会)、おひさまてらす(ひきこもりの家族会) *ぽかぽかてらす活動回数:13回 *おひさまてらす活動回数:13回 *会場の確保やスタッフのサポート等の支援を行い、定期的に開催した。また、関係機関等からの見学依頼への対応も行った。 ※主な団体支援を挙げた。	
3. 農福連携	*活動日:毎週水・土曜日 *活動回数:84件 *内容:農作物の手入れ、収穫など	○ 新たな担い手の発掘や地域食堂へ収穫物の寄付につながった。 ○ 利用者が少数だったことや、次年度には事務所の移転が予定されていたため、活動の見直しを図りながら支援を終結とした。

(6)地域福祉コーディネーターの活動内容周知業務

事業内容	事業実績	事業効果・評価等
1. 公民館まつりへの参加	(1) 並木公民館まつり *開催日:令和7年5月 18・19日 (2) もとまち公民館まつり *開催日:10月 19・20日	○ 地域住民の身近な場所で、地域福祉コーディネーターの周知を行うことができた。
2. 関係機関への事業説明	*実施回数:6回 *開催機関:国分寺市障害者基幹相談支援センター、国分寺市障害者就労支援センター、市役所、いずみプラザ、リオンホール、国分寺市薬剤師会	○ 本事業の理解を深め、包括的な支援体制の構築につながった。
3. SNS、広報紙及びチラシ等にて周知	*Facebook投稿数:81件 *Instagram投稿数:81件 *X(旧Twitter)投稿数:49件	○ 本事業の周知の促進につながった。
4. 地域福祉コーディネーター活動報告書発行	*令和6年5月発行	○ 地域福祉コーディネーターの支援内容や役割を地域住民、支援関係機関等に周知し、相談や連携につなげることができた。

(7)その他

事業内容	事業実績	事業効果・評価等
1. スーパービジョンの実施	(1) スーパービジョン(5回) 地域支援における実践力の向上に向けた地域アセスメントについて【スーパーバイザー:熊田博喜氏(武蔵野大学教授)】	○ 地域アセスメントシートを作成し、地域支援の実践力の向上を図ることができた。

2. 研修等への参加	*受講講座件数:23 件	○ 職員の資質向上を行うとともに、参加者との交流を図り、関係性づくりとなった。
3. 内部連携会議	(1) 内部会議やプロジェクト、評議員会等への参加(参加回数:136 回)	○ 他部署との連携強化を図った。
4. 他機関との会議	*参加回数:46 回 小地域ケア会議、障害者自立支援協議会相談支援部会等へ参加した。	○ 他機関と情報共有等を行い、地域生活課題の把握や、連携強化ができた。

2.自立支援担当(自立生活サポートセンターこくぶんじ)

失業や離職、病気など様々な経済的問題とあわせて、生活していく上での問題などを抱えた市民を対象に総合相談窓口として「自立生活サポートセンターこくぶんじ」を設置し運営した。

(1) 生活困窮者自立支援事業(国分寺市委託事業)

事業内容	事業実績	事業効果・評価等
1. 自立相談支援事業(必須)	(1) 自立相談支援事業の実施 新規相談件数:379 件 プラン作成数:183 件 プラン作成者のうち、就労支援対象者数:53 件 就労決定者数:27 人 延べ支援件数:7,415 件	○ さまざまな課題を抱えた相談者に対して、専門の相談員が個別支援計画(プラン)を作成し、相談者に寄り添った支援を実施した。
2. 住居確保給付金(必須)	(1) 住居確保給付金の支給 新規相談者数:50 件 新規申請件数:12 件	○ 離職等による住宅喪失者又は住居を失う恐れのある方に対し、家賃相当の住居確保給付金を支給した。 ○ 住居確保給付金の申請をきっかけに、就労支援や困りごとの相談を行い、生活の安定が図られた。
3. 家計改善支援事業(任意)	(1) 家計改善支援事業の実施 プラン作成件数:22 件	○ 家計の見直しを行い、家計状況の改善を通じて生活の安定が図られた。 ○ 弁護士事務所や生活再生相談窓口と連携して支援を行った。 ○ 貸付担当と常時情報共有を行い、連携して支援を行った。
4. 子どもの学習・生活支援事業(任意)	(1) 無料学習塾の実施 【場所】戸倉、本町、西町 【対象】小学3年生から中学3年生(通塾者で高校に進学後も利用継続の場合は高校生も対象) 【利用者数】42 名 (2) 学習担当者会議の開催(2 回) (3) スクールソーシャルワーカー懇談会の開催(2回)	○ 学習支援を通じ、学習習慣の習得や社会的な居場所づくりを行った。 ○ 親との定期面談を通じて世帯全体の支援を行った。利用出来る制度の紹介を行い、進学等の支援を行った。 ○ 学習担当者会議を通じて関係機関と事業の運営について検討し、

		事業を円滑に実施した。 ○ スクールソーシャルワーカーとの懇談会を通じて、関係機関との連携を密にして世帯への支援を行った。
5. 就労準備支援事業(任意)	(1) 就労準備支援事業の実施 プログラム作成件数:6件 (2) プログラムの開催 ちよいジョブ参加延べ人数:64人 農園参加延べ人数:3人 その他参加延べ人数:2人	○ ひきこもりや傷病等により、長期間働けていない相談者に対して個別にプログラムを作成し、個別相談や就労体験(ちよいジョブ)を実施し、支援を行った。

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
新規相談件数	561 件	394 件	332 件	379 件
プラン作成件数	263 件	203 件	141 件	183 件
プラン作成者のうち就労支援対象者数	198 件	113 件	52 件	53 件
就労決定者数	51 人	48 人	36 人	27 人
住居確保給付金 新規申請件数	59 件	41 件	9 件	12 件
家計改善支援事業 プラン作成件数	22 件	23 件	18 件	22 件
子どもの学習・生活支援事業 事業利用者数	39 人	48 人	41 人	42 人

(2)独自事業

事業内容	事業実績	事業効果・評価等
1. 特別診療券	(1) 特別診療券の発行 延べ発行枚数:2枚 利用実人数:2名	○ 特別診療券を利用して受診することにより、就労の継続や生活の安定が図られた。
2. 生活困窮者食料支援事業	(1) フードドライブ事業の実施 相談者への配付:326.8kg 地域食堂等居場所づくりを行う団体への配付:632kg (2) 食品の無料配付・暮らしの相談(生活応援事業)の実施(12回)(ボランティア活動センターこくぶんじとの共同開催) 新規受付件数:64件 (3) 市内のパン屋(キイニョン)の協力の下、無料学習塾利用者に廃棄予定パンの無料提供を行った	○ フードドライブを活用し、生活を立て直すまでの間の食料支援を行った。 ○ 地域食堂等、市内で居場所づくりをしている団体に向けて食品をお渡しすることで、市内の団体とつながるきっかけとなった。 ○ 生活応援事業を土曜日に実施し、平日の来所が困難な方や相談につながっていない方の相談の機会となった。 ○ パンの提供を通じて、子どもの生活支援を行った。

(3)他機関・他部署との連携

事業内容	事業実績	事業効果・評価等
1. 国分寺市との連携	(1) 支援調整会議の開催(12回) (2) 生活困窮者自立相談支援事業連絡会(庁内連絡会)および進行管理部会の参加(3回) (3) 就労支援地域連絡会の参加(2回)	○ 支援調整会議を通じてプラン案の適切性や運営方針について協議した。 ○ 庁内連絡会に参加し相談傾向や事業実績について報告することで適切な運営に繋がった。また個別ケースへの対応だけでなく地域課題の抽出

	(4) 就労支援プラン見直し検討委員会の参加(5回) (5) 子ども若者支援地域ネットワーク会議の参加(4回)	に繋がった。 ○ 各種会議への参加等を通じ、庁内各課との連携を強化することができた。
2. 生活保護受給者等就労自立促進事業	(1) ハローワーク立川への支援要請の実施 支援要請利用者のプラン策定件数:8件 (2) 連絡会の開催(6回) (3) 協議会への参加(1回)	○ 支援要請を行うことにより、ハローワークとより連携を密にして就労支援を行うことが出来た。 ○ ハローワークの就労支援ナビゲーターと定期的に連絡会を開催し、支援方針を共有した上で支援を行うことができた。また、本会において巡回相談を行い、相談につながるきっかけとなった。
3. 重層的支援体制	(1) 参加支援の実施 体験農園への参加(3回) (2) 支援会議への参加(3回) (3) 権利擁護支援検討会議への参加(2回) (4) ぽかてらへの参加(13回) (5) 丸っとふくまどへの参加(13回)	○ 体験農園への参加を通じて、社会参加の機会を確保した。 ○ 支援会議への参加を通じて、他機関との情報共有や支援方針の検討を行い、効果的に支援を行うことが出来た。
4. その他	(1) 生活困窮者自立支援制度東京都・市部第4ブロック (2) 国分寺地区児童委員、児童相談所、学校等の関係機関および子ども家庭支援センター等による地区連絡協議会 (3) 居住支援法人との情報交換 (4) 法テラス多摩地区協議会	○ 近隣他市や関係機関と情報交換し日頃の取り組みの振り返りと新たな情報収集を行った。

(4)情報提供

事業内容	事業実績	事業効果・評価等
1. 関係機関への事業説明	(1) 事業の周知啓発 市役所庁内各課、令和6年度 ブラッシュアップ研修(基幹相談支援センター)、障害者就労支援センター、民生・児童委員協議会、東京都民生児童委員連合会(生活福祉部会)、国際協会、多摩立川保健所、立川マック等	○ 地域福祉コーディネーター、権利擁護センターと合同で事業説明を行い、効率化されたと共に、相互理解を深めることができた。 ○ 関係機関と顔の見える関係になり、互いに連携しやすい関係を作ることができた。
2. 市民への啓発	(1) 事業の周知啓発 リーフレットやチラシ、国分寺市報・自立生活サポートセンターこくぶんじ広報誌、本会ホームページ、SNS等を活用し、広報を行った	○ さまざまな手段で広報を行うことにより、幅広い市民の方に事業内容の普及啓発を行うことができた。

(5)研修などの受講

事業内容	事業実績	事業効果・評価等
1. 研修などの受	受講回数:36回	○ 研修を受講することにより知識・技

講	【研修内容の例】 生活困窮者自立支援制度人材養成研修、事業従事者向け研修(基礎・課題別)、生活困窮者自立支援全国研究交流大会、子どもの学習・生活支援事業従事者研修、精神保健福祉研修など	術の向上につながり、より専門性をもって相談支援を行うことができた。
---	--	-----------------------------------

3. 貸付担当

(1) 生活福祉資金の相談・貸付・償還(東京都社会福祉協議会委託事業)

低所得者世帯、障害者や高齢者世帯に対し、資金の貸付とあわせて世帯への継続的な相談支援を行い、経済的自立や社会参加の促進を図ることを目的とした「生活福祉資金貸付制度」を実施した。

また、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年3月 25 日から令和4年9月 30 日の間に実施した、特例貸付(緊急小口資金・総合支援資金)の借受人に対し、フォローアップ支援事業(償還猶予や少額返済等に関する相談支援)を実施した。

項目	事業実績	事業効果・評価等
1. 生活福祉資金貸付制度の受付業務	(1) 相談件数: 831 件 決定件数: 1件 (2) 貸付相談に対し、貸付に寄らない支援も視野に入れ、必要に応じて就労支援や家計改善支援等へつないだ	○ 相談件数は前年度に比べると45%増(表1-1参照)となっており、新型コロナ特例貸付における償還等の支援に力を入れていたことが理由としてあげられる ○ コロナ禍を経てより課題が複合化する世帯からの貸付相談に対し、適切な生活課題等のアセスメントを行い、貸付に寄らない支援の必要性も視野に入れ支援を行った
2. 特例貸付借受人へのフォローアップ支援(緊急小口資金・総合支援資金)	(1) 期限内督促者を対象に架電によるフォローアップ支援の実施 【総架電件数】 327 件 (2) 償還困難者に対し、償還猶予や少額返済の説明を行うとともに、必要に応じて各関係機関へつないだ	○ 東社協からの督促に加えて本会からも借受人へプッシュ型の支援を行うことで、支援を必要としている方へのアウトリーチにつながった ○ 償還に関することだけではなく、就労支援や債務に関する相談等借受人世帯の経済的自立や社会参加の促進を図った
3. 広報・普及啓発活動	(1) 広報関係 社会福祉だより「ふくし」の発行(5/1号)、ホームページへの掲載を行った (2) 民生委員との連携 東京都民生児童委員連合会生活福祉部会への参加(1/28)	○ 民生委員生活福祉部会へ参加し事業説明を行うことで、制度理解の促進を図るとともに、顔が見え相談しやすい関係性を築くことができた

○相談件数：831 件(前年度比 45%増)

表1-1

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
借入相談	600	272	176
償還相談	352	300	655
合計	952	572	831

- ※ 生活福祉資金全ての資金種類での相談
- ※ 郵送、関係機関等本人以外からの相談は除く
- ※ 償還相談:償還や債権管理に関する相談(郵送含む)

○貸付決定件数・金額

表 1-2

資金種類	決定件数(件)	決定金額(円)
福祉資金	0	0
教育支援資金	1	1,566,000
緊急小口資金	0	0
総合支援資金	住宅入居費	0
	生活支援費	0
	一時生活再建費	0
臨時特例つなぎ資金	0	0
		貸付限度額(円)
不動産担保型生活資金	0	0

(2)独自事業

本会独自の貸付事業として、他制度からの借入が困難である生活困窮者を対象に、生計を立てるために必要な緊急の生活費「応急援護資金」(上限 50,000 円)、および生活保護申請者の保護費が支給される間の生活費「要保護世帯向け応急援護資金」(上限 10,000 円)の無利子の貸付を行った。

また、住所不定者等に対し、交通費等の貸付「緊急援護費」(上限 500 円)を行った。

項目	内容	事業効果・評価等
1. 応急援護資金貸付事業	(1) 相談件数:38 件 (関係機関等からの相談も含む) 貸付件数:6件 貸付金額:95,000 円 償還金額:25,000 円 (2) 長期滞納者を対象に所在確認を行い、債権管理を図った 件数:19 件	○ 世帯の経済的安定を図るため、継続的な相談支援や、関係機関との情報共有を行った ○ 自立支援担当と日々連携し、就労支援やフードドライブ等の必要な支援につなげた ○ 長期滞納者のうち徴収不能な債権の把握をすることができ債権管理を図ることができた。
2. 緊急援護費等貸付事業	(1) 相談件数:6件 貸付件数:2件 貸付金額:1,000 円 償還金額:0円	○ 自立支援担当と日々連携し、就労支援やフードドライブ等の必要な支援につなげた

(3)他機関・他部署との連携

項目	内容	事業効果・評価等
1. 自立生活サポートセンターこ	(1) 積極的に情報共有し、必要に応じて自立支援担当への相談につなげた	○ 同部署であるため日頃から連携し情報共有に努めた

くぶんじ(自立相談支援機関)との連携	(2) 新型コロナ特例貸付におけるフォローアップ支援(償還猶予期間中の借受人や、償還困難者世帯への相談支援等)の連携を行った	○ 個々のケースに応じて必要な支援(就労支援や家計改善支援等)へつなぎ、借受人世帯の経済的自立を図った
2. 北多摩西部ブロック生活福祉資金担当者会議への出席	(1) 北多摩西部ブロック社協の生活福祉資金担当者会議を開催し担当者間で情報共有を行った 実施日:令和7年3月 27 日	○ 北多摩西部ブロック社協の生活福祉資金担当者間で情報共有を行い、現状の課題を把握するとともに、今後の事業内容の検討を行った ○ 担当者会議に東社協職員にも参加してもらい、地区社協の相談業務の実情を把握、共有する機会とした

(4)生活安定応援事業(国分寺市委託事業)

一定所得以下の世帯を対象に、学習塾等の費用および高校や大学の受験料の無利子の貸付である「受験生チャレンジ支援貸付」を実施した(高校や大学等に入学した場合は返済免除となる)。

事業内容	事業実績	事業効果・評価等
1. 受験生チャレンジ支援貸付事業の受付業務	(1) 相談件数:512 件 決定件数:72 件	○ 当初の目標決定件数(80 件)より下回ったが、世帯の滞納や離婚調停中であるケースが例年より多く、また大学受験の際推薦等で入学するケースが増えていることも要因として考えられる
2. 広報・普及啓発活動	(1) 広報関係 市報(10/1号)や自立生活サポートセンターくぶんじの広報誌(9/15 発行)、ホームページへの掲載を行った (2) 関係機関への周知 民生・児童委員への事業周知や、校長会(4/19)にて事業説明を行った	○ 各関係機関への事業説明を行ったことで、事業の周知、理解を図るとともに、顔の見える関係性づくりにつながった

○相談件数:512 件(前年度比 10%減)

表 2-1

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
申請相談	554	470	447
償還相談	57	99	65
計	611	569	512

※1 架電、関係機関等からの相談は除く

※2 償還相談:前年度貸付決定者からの償還免除相談

○貸付決定件数

表 2-2

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
学習塾受講料	36	34	32

受験料	43	38	40
計	79	72	72

4.権利擁護担当(権利擁護センターこくぶんじ)

高齢者や障害者が住み慣れた地域で安心して生活できるように支援する総合的な相談窓口として、「権利擁護センターこくぶんじ」を国分寺市日吉町に設置し運営した。またその運営に関しては第三者の立場から事業、運営方針、取組状況等について助言・指導を受けるため、専門職や福祉関係者、市民等で構成する運営委員会を設置した。

(1)福祉サービス総合支援事業(国分寺委託事業)

高齢者や障害者が住み慣れた地域で安心して生活できるように支援する総合的な相談窓口として、福祉サービスの利用に係る相談業務及び判断能力の不十分な人の権利擁護に係る相談業務を行った。

事業内容	事業実績	事業効果・評価等
1. 相談支援事業	(1) 総合相談:15,259 件 (2) ふくし法律相談(年 12 回):25 件 (3) 苦情相談:11 件(延べ 65 回)	○ 総合相談件数は前年度比 103% (前年度 14,748 件)となり、年々相談件数は増加している。 ○ 相談の約 60%が認知症高齢者の案件で、次いで 18%が精神障害者の案件である。
2. 苦情対応窓口の設置	(1) 福祉サービスの利用に関する苦情等に専門的な見地から対応するため、弁護士・医師・元民生児童委員で構成される苦情等解決委員会を設置した。また相談対応を報告するため委員会を開催した(7月4日)。 (2) 苦情相談に対し、苦情等解決委員会に助言を仰ぎ、職員(社会福祉士)が一定の調整を図った。 苦情相談:11件(延べ 65 回)※再掲	○ 苦情相談の件数は平年並みだが、相談者や関係者との連絡調整等に頻回な対応を要したが、解決のため丁寧な対応を行った。 ○ 苦情相談の 60%が障害サービスに対する苦情相談だった。また令和6年度は放課後デイサービスに対する苦情が初めて入っている。
3. 顧問弁護士の設置	(1) 権利擁護支援のアドバイザーとして顧問弁護士を置いた。 顧問弁護士:伊達俊二氏	
4. 広報活動	(1) ホームページ上での適宜の情報発信、パンフレットや通信等の作成や配架を行った。 (2) 関係機関や団体向けに事業説明を行った。また講座や研修の講師等を務めた。 (事業説明) 基幹・包括・社協懇談会 (2回)、成年後見制度ミニ講座(包括支援センター主催)、おひてら(ひきこもり家族会)、民生委員高齢者福祉部会勉強会、包	○ 地域福祉コーディネーターと自立生活サポートセンターと協働で事業説明を行うことで、効率化されたと共に、相互理解を深めることができた。 ○ 8050 問題のケース案件が増加する中で障害分野と高齢分野の連携を強めるために基幹・包括・社協の懇談会を実施した。 ○ 支援者向けの事業説明を重点的に実施したことで相談件数の増加

	括職員向け勉強会（2回） （出張講座） 基幹・包括・社協懇談会（2回）、成年 後見制度ミニ講座（包括支援センター 主催）、おひてら（ひきこもり家族会）、 民生委員高齢者福祉部会勉強会、包 括職員向け勉強会（2回） （3）ニューズレターを発行した。 発行：計1回	に繋がった。
--	--	--------

（2）成年後見活用あんしん生活創造事業（国分寺市委託事業）

成年後見制度の利用を促進するための体制整備及び事業の実施を支援することにより、認知症高齢者、知的障害者等が判断能力の低下によって自らの財産管理や日常生活を営むことが困難となった場合に、地域で安心して生活を継続できるよう、成年後見制度の積極的な活用を図ることを目的に事業を実施した。

事業内容	事業実績	事業効果・評価等
1. 中核機関の運営	(1) 広報活動 ① 成年後見制度講演会 実施日：8月3日 参加者：68名 ② 出張講座（7回） 基幹・包括・社協懇談会（2回）、 成年後見制度ミニ講座（包括支 援センター主催）、おひてら（ひき こもり家族会）、民生委員高齢者 福祉部会勉強会、包括職員向け 勉強会（2回） ③ パンフレット等の配布 ④ 事業説明（8回） 市職員（4回）、基幹相談支援セ ンター、就労支援センター、居住 支援フォーラム、民生児童委員 協議会 (2) 相談支援事業 ① 成年後見専門相談（年 12 回）： 25 件 ② 成年後見制度無料個別相談会 実施日：8月3日 相談件数：8件 ③ 終活個別相談会 実施日：令和7年3月 15 日 (3) 成年後見制度の利用促進 ① 権利擁護支援検討会議 実施回数：10 回 相談件数：30 件（重複あり） ② 後見人等候補者の受任調整 ③ 市民後見人候補者推薦会議	○ 広報活動（成年後見制度啓発の 紙芝居）には市民後見人後見活 動メンバーに積極的に関わって もらい、市民後見人の周知にも繋が った。 ○ 個別相談会を休日に開催すること で、平日日中の来所等が難しい方 への相談の機会となった。 ○ 新たな試みとして終活個別相談会 を開催し、成年後見制度だけでは ない相続・遺言・死後事務・身元保 証等新たな権利擁護支援の一環 として幅広く相談対応を行った。 ○ 親族後見人懇談会を国立市社協 と共催し、参加者が増え有意義な 懇談の場を提供することができた。 ○ 法人後見を実施している他の実施 団体との懇談を通じ、国分寺社協 が行う法人後見のあり方の検討に 繋がった。

	(4)後見人の支援 ① 親族後見人懇談会 実施日:令和7年3月1日 ② 法人後見実施団体との懇談会 実施日:6月8日、10月9日 ③ チーム支援やモニタリングの実施:16件 ④ 市民後見人受任者懇談会 実施日:令和7年2月5日 (5)地域連携ネットワーク会議 実施日:令和7年1月16日	
2. 市民後見人の育成	(1) 市民後見人フォローアップ講座 実施日:6月1日、12月14日 (2) 研修の機会の確保 (3) 生活支援員の登録・活動 登録:16名 活動:8名 (4) 第4回市民後見人養成講座開催 修了者:10名 ※うち後見活動メンバーとして8名が登録	○ フォローアップ講座を通して本講座では得られなかった様々な知識の習得と事例演習で意思決定支援を学ぶことでスキルアップを図った。 ○ 生活支援員の登録を推奨し、実務に携わる機会を提供した。 ○ 第4回市民後見人養成講座を開催し、地域住民の成年後見制度への理解が深まるとともに担い手の育成・確保を図った。
3. 法人後見業務	受任件数:3件(累計5件) 延べ対応回数:1,089回	○ 令和6年度新たに1件受任した。 ○ 業務実施状況は運営委員会で報告し助言や指導を得ている。 ○ 初回報告や定期報告は顧問弁護士に確認を依頼し安全性を担保している。
4. 法人後見監督業務	受任件数:5件(累計13件) 延べ対応回数:366回	○ 業務実施状況は運営委員会で報告し助言や指導を得ている。
5. 権利擁護センター運営委員会の開催	(1) 権利擁護センター運営委員会 実施日:4月18日、7月18日、10月17日	○ 運営委員会を開催した。
6. 権利擁護地域連携ネットワーク会議の開催	(1) 権利擁護地域連携ネットワーク会議 実施日:令和7年1月16日	○ 昨年まで運営委員会と一体的に開催してきたが、令和6年度より運営委員会とは別日で開催した。 ○ 学識経験者や医療相談員が新たに参加し、メンバー構成を一新した。
7. 地域連携ネットワークの活用	(1) 権利擁護関係機関連絡会 実施日:5月29日、10月23日、令和7年2月20日	○ 3回目は市や地域福祉コーディネーターと共催し、内外共に有機的な連携を図る一助となった。

(3)緊急一時事務管理事業(国分寺市委託事業)

緊急に保護が必要になった判断能力の低下した高齢者や知的障害者、精神障害者のうち、金銭管理等が特に必要な方に対して民法に規定する事務管理を緊急かつ一時的に実施する体制を整えた。令和6年度の委託は1件。

(4)地域福祉権利擁護事業(東京都社会福祉協議会委託事業)

認知症高齢者や知的障害者、精神障害者等で、ひとりで福祉サービスの利用や金銭管理が困難な方が地域で安心・安定した生活を送れるよう、社会福祉協議会との契約により福祉サービス利用援助、日常的な金銭管理サービス、書類等預かりサービスを行った。

事業内容	事業実績	事業効果・評価等
1. 安定した事業実施	(1) 内部ケース会議の開催(月1回) (2) 関係機関との連携強化 (3) 他地区との連携 北多摩西部ブロック社協の担当者会議を幹事社協として主催した 実施日:5月 28 日、7月 23 日、11 月 26 日、令和7年1月 28 日、3 月 18 日	○ 新規契約 34 件、解約 21 件、年度末契約者数 110 件、相談対応 9,955 回と前年比より微減したが、相談実人数としては増加している。事業説明を重点的に実施したことで、本事業が権利擁護支援の入り口として周知・理解に繋がっている。
2. 生活支援員の育成	(1) 生活支援員懇談会 実施日:4月 13 日、10 月 18 日 (2) 研修会 東京都社会福祉協議会主催の新任研修や現任研修に参加した。北多摩西部ブロック社協の合同研修に参加した。その他任意研修として、権利擁護関係機関連絡会や成年後見制度講演会、市民後見人フォローアップ講座等に参加した。	○ 年度末登録者 39 名。年度内新規登録7名。 ○ 市民後見人養成講座修了生の多くが生活支援員として登録した。実務研修の一環として生活支援員の登録や活動を推奨している。 ○ 育成のため、新任研修と現任研修、北西ブロック社協の合同研修への参加は必須としている。
3. 広報活動	(1) ホームページ上での適宜の情報発信、パンフレットや通信等の作成や配架を行った。 (2) 関係機関や団体向けに事業説明の機会を積極的に得た。また希望に応じ講座や研修の講師等を務めた。	○ 事業説明を重点的に実施したことで、本事業が権利擁護支援の入り口として周知・理解に繋がっている。

(5)その他

事業内容	事業実績	事業効果・評価等
1. 職員の資質向上	○委員の派遣 ・国分寺市地域ケア会議権利擁護部会(6月 20 日、令和7年1月 16 日) ・国分寺市地域包括支援センター運営協議会(5月 24 日、11 月 26 日、令和7年3月3日) ・国分寺市消費者見守りネットワーク協議会(6月 20 日、8月 28 日、令和7年1月 16 日) ・国分寺市障害者地域自立支援協議会(6月 25 日、10 月 10 日、令和7年3月 26 日) ○会議・研修	○ 資質向上や関係機関との連携強化のため、研修や会議への積極的な参加や委員の派遣を行った。

	・地域福祉権利擁護事業センター長会議(11月25日) ・地域福祉権利擁護事業業務連絡会(6月20日、令和7年1月31日) ・地域福祉権利擁護事業専門員研修(8月6日、9月26日、10月1日、11月19日、令和7年2月21日) ・成年後見制度推進機関 テーマ別研究会議(10月2日、12月12日、令和7年3月17日) ・成年後見制度推進機関 フォローアップ研修(7月24日、11月28日) ・区市町村苦情対応機関専門研修(9月3日、令和7年2月27日) ・市区町村社会福祉協議会新任研修(6月5日) ・法人後見基礎研修(11月27日、12月4日) ・法人後見応用研修(令和7年2月14日) ・北多摩西部ブロック社協地域福祉権利擁護事業専門員研修(9月24日) ・東京都成年後見地域連携ネットワーク会議(11月21日) ・東京都成年後見制度推進機関連絡会(11月21日) ・東京都区市町村長申立て研修(8月5日) ・地域と家裁の連絡会(10月18日) ・家事関係機関との連絡協議会(令和7年2月26日) ・利用者支援区市町村連絡会(5月24日、令和7年2月28日) ・多摩総合精神保健福祉センター精神保健福祉研修(11月29日、12月4日)	
--	--	--

Ⅱ 関係機関・団体への委員等の派遣

(1)関係機関・団体等への委員等の派遣

国分寺市や関係機関・団体の理事・評議員として、本会役員を派遣した。

【国分寺市】

会議・団体名	役職等	派遣者	任期
生きがい推進事業協議会	委員	常務理事兼事務局長:小川恵一郎	令和6年 10 月1日～ 令和8年9月 30 日
民生児童委員推せん会	委員	常務理事兼事務局長:小川恵一郎	令和5年 11 月1日～ 令和8年 10 月 31 日
防災会議	委員	会長:熊谷 淳	令和6年7月1日～令 和8年6月 30 日
要保護児童対策地域協議会代表者	委員	会長:熊谷 淳	
障害者虐待防止ネットワーク 代表者会議	委員	会長:熊谷 淳	
高齢者虐待防止ネットワーク 代表者会議	委員	会長:熊谷 淳	
障害者虐待防止ネットワーク 実務者会議	委員	常務理事兼事務局長:小川恵一郎	
高齢者虐待防止ネットワーク 実務者会議	委員	常務理事兼事務局長:小川恵一郎	
介護保険運営協議会	委員	常務理事兼事務局長:小川恵一郎	令和6年4月1日～令 和9年3月 31 日
地域福祉推進協議会	委員 (副会長)	常務理事兼事務局長:小川恵一郎	令和6年4月1日～ 令和7年3月 31 日
国分寺市特別職報酬等審議会	委員	理事:二階堂寛	令和5年4月1日～ 令和7年3月 31 日

【市内社会福祉法人等】

会議・団体名	役職等	派遣者	任期
一般財団法人 国分寺市健康福祉サービス協会	理事	会長:熊谷 淳(～令和6年6月) 常務理事兼事務局長:小川恵一郎 (令和6年6月 13 日～)	令和6年6月 13 日～令 和8年度定時評議員 会の終結の時
一般財団法人 国分寺市健康福祉サービス協会 苦情処理委員会	委員	会長:熊谷 淳(～令和6年7月) 常務理事兼事務局長:小川恵一郎 (令和6年8月1日～)	令和6年8月1日～ 令和8年7月 31 日
一般財団法人 国分寺市健康福祉サービス協会	評議員	常務理事兼事務局長:小川恵一郎 (～令和6年6月) 会長:熊谷淳(令和6年6月 13 日～)	令和6年6月 13 日～令 和8年度定時評議員 会の終結の時
社会福祉法人 はらからの家福祉会	理事	常務理事兼事務局長:小川恵一郎	令和5年6月 22 日～ 令和7年度定時評議 員会の終結の時
社会福祉法人 万葉の里	評議員	常務理事兼事務局長:小川恵一郎	令和5年3月 25 日～ 令和7年度定時評議 員会の終結の時
社会福祉法人 AnnBee	評議員	常務理事兼事務局長:小川恵一郎	令和5年6月 17 日～ 令和7年度定時評議 員会の終結の時

東経大・国分寺地域連携推進協議会	委員	会長:熊谷 淳	
国分寺地域インターンシップ・学生地域参加実施委員会	委員	常務理事兼事務局長:小川恵一郎	
国分寺消防署住宅防火防災対策推進協議会	委員	会長:熊谷 淳	
国分寺市障害者福祉を進める会	委員 (副会長)	常務理事兼事務局長:小川恵一郎	
東京都共同募金会 国分寺地区協力会	監事	理事:飯沼 克美	令和8年度第1回理事・監事会終結の時
	会長	監事:森田 林三	
北多摩西部地域保健医療協議会	委員	会長:熊谷 淳	令和5年5月9日～令和7年3月31日
国分寺市観光まちづくり連絡協議会	委員	常務理事兼事務局長:小川恵一郎	
国分寺まつり実行委員会役員	庶務部会長	常務理事兼事務局長:小川恵一郎	
東京都社会福祉協議会 地域福祉推進委員会	委員	常務理事兼事務局長:小川恵一郎	令和5年4月1日～令和7年3月31日

Ⅲ.資料

(1)評議員(第28期)名簿

(敬称略 順不同)

氏名	選出団体等
稲葉 直子	地域の福祉関係者(国分寺障害者団体連絡協議会)
原 俊男	地域の福祉関係者(特定非営利活動法人 あおぞら)
本多 勇	社会福祉事業の学識経験者(国分寺社会福祉士会)
松本 栄作	地域の福祉関係者(国分寺市商工会)
花澤健太郎	地域の福祉関係者(国分寺青年会議所)
中川 勝利	社会福祉事業の学識経験者(国際文化理容美容専門学校)
笹川 克也	社会福祉事業の学識経験者(学校法人 東京経済大学)
山田 弘	地域の福祉関係者(国分寺建設業協会)
加藤清一郎	地域の代表者(本多連合町会)
野口 誠一	地域の代表者(泉町三丁目地区連合自治防災会)
福本 雄吉	地域の代表者(恋ヶ窪自治会連合会)
小泉 清	地域の代表者(戸倉自治会)
櫻井 幹三	地域の代表者(高木町自治会)
押味亜希子	地域の福祉関係者(国分寺市国際協会)
成瀬 大輔	弁護士(南立川法律事務所)
野中 明彦	社会福祉に関心を有する個人団体

※任期:令和3年6月 25 日から令和6年度に関する定時評議員会の終結の時まで

(2)評議員選任・解任委員会委員名簿

(敬称略・順不同)

氏名	選出区分
森田 林三	国分寺市社会福祉協議会 監事
関田 實	外部委員
峯岸 桂一	外部委員
北邑 和弘	国分寺市社会福祉協議会 事務局次長
前田 住榮	国分寺市社会福祉協議会 総務課長

※任期 令和5年6月 27 日から令和6年度に関する定時評議員会の終結の時まで

(3)役員(第30期)名簿

(敬称略)

役名	氏名	選出団体等
会長	熊谷 淳	学識経験者
副会長	内藤 孝雄	国分寺市民生委員・児童委員協議会
副会長	新井 宏伸	国分寺市健康部長
常務理事	小川恵一郎	社会福祉法人 国分寺市社会福祉協議会
理事	高木 智匡	一般社団法人 国分寺市医師会
理事	二階堂 寛	東京司法書士会 府中支部
理事	和地 誠一	北多摩東地区保護司会 国分寺分区
理事	渡邊 幹夫	国分寺市老人クラブ連合会
理事	飯沼 克美	東京国分寺ロータリークラブ
理事	川島 政義	東京国分寺ライオンズクラブ
理事	鈴木 亮一	社会福祉法人 普門会
理事	織戸小百合	社会福祉法人 つくしんぼ共同保育会
理事	小山 一郎	社会福祉法人 ななえの里
理事	室地 隆彦	社会福祉法人 万葉の里
監事	森田 林三	学識経験者
監事	寺田 昭仁	学識経験者

顧問・名誉会長	星野 亮雅	元会長
---------	-------	-----

相談役	堀内 直	元副会長
	那知上 亨	元監事
	野口 進	前副会長

※任期:令和5年6月 27 日から令和6年度に関する定時評議員会終結の時まで

(4)協力員(第 30 期)名簿

(敬称略・順不同)

氏名	所属
小山 實	元町親交会
森田 隆	元民生・児童委員
小林 暁子	元民生・児童委員
遠藤 久基	元民生・児童委員
松木やす子	元民生・児童委員
植田 虎生	光町南部自治会
高橋 慶子	元民生・児童委員
齋藤 利一	元民生・児童委員
池谷 憲治	民生・児童委員
荒井 幸子	民生・児童委員
追谷 恵子	元民生・児童委員
小坂くみこ	元民生・児童委員
深山 正子	民生・児童委員
戸倉 央江	民生・児童委員
浅見 健治	元民生・児童委員
朝倉 さく	元民生・児童委員
蓮實 麗子	民生・児童委員
中村 朋子	民生・児童委員
坂本 直美	民生・児童委員
逸見 昭夫	元民生・児童委員
長谷部豊子	元主任児童委員
川窪 稔	元民生・児童委員
清水 武	元民生・児童委員
進 万佐子	民生・児童委員
渡邊 泰子	元民生・児童委員
原 直彦	元民生・児童委員
松友 了	元民生・児童委員
坂本喜久子	元民生・児童委員
大濱 夏	元民生・児童委員
三ツ木静江	元民生・児童委員
堀田 和重	民生・児童委員
野村 希	元民生・児童委員
田中 雅男	民生・児童委員
杉浦 真子	民生・児童委員
高嶺 和子	民生・児童委員
小塚 文子	民生・児童委員
小野 政雄	民生・児童委員
黒川由紀子	元民生・児童委員
高塚たか子	民生・児童委員
寺内 理恵	民生・児童委員
榎戸 敏雄	民生・児童委員
清水智恵子	元民生・児童委員
鈴木 雅大	民生・児童委員
村原 町子	民生・児童委員
金子 千佳	主任児童委員

氏名	所属
斉藤 順法	民生・児童委員
蓑和久美子	民生・児童委員
寺嶋 文代	元民生・児童委員
吉川 祐子	民生・児童委員
渡辺笑美代	元民生・児童委員
井上たき子	元民生・児童委員
田中 明美	元民生・児童委員
田中美登里	元民生・児童委員
前出 禎造	民生・児童委員
和地 孝三	元民生・児童委員
植田 和秀	元民生・児童委員
高波 辰男	元民生・児童委員
宮田萬利子	民生・児童委員
岩澤美代子	民生・児童委員
岡田 忍	元民生・児童委員
小澤 達代	元民生・児童委員
鈴木 恵子	民生・児童委員
阿部 公昭	元民生・児童委員
廣松 千晶	主任児童委員
小林 智子	元主任児童委員
星 和子	元民生・児童委員
中村 陽子	民生・児童委員
田和 洋太	主任児童委員
高柳 修一	民生・児童委員
宮崎 邦子	民生・児童委員
大澤早智子	元民生・児童委員
山本千代子	民生・児童委員
笠原三千代	元民生・児童委員
内藤 利子	元民生・児童委員
山田 正則	元民生・児童委員
丹下 美幸	民生・児童委員
金子 健一	元主任児童委員
山田ユリ子	民生・児童委員
天野 徹	民生・児童委員
宮尾 康子	民生・児童委員
山口 悦子	民生・児童委員
山内 信也	民生・児童委員
佐藤 より	主任児童委員
野田智恵子	民生・児童委員
野中 直子	民生・児童委員
井澤伸一郎	民生・児童委員
加藤 幸	民生・児童委員
佐藤 宣子	民生・児童委員
坂本 浩	民生・児童委員
坂本 昌枝	民生・児童委員

氏名	所属
神田佐和子	民生・児童委員
平岡 是昭	民生・児童委員
阿部 恵子	民生・児童委員
森田 敏明	民生・児童委員
尾崎喜代江	民生・児童委員
石川 眞澄	民生・児童委員
岩崎 文子	元民生・児童委員
尾崎 周一	元民生・児童委員
岡田 清美	元民生・児童委員
鈴木 汎子	元民生・児童委員
池谷 敏子	元民生・児童委員
田中久美子	北多摩東地区 保護司会 国分寺分区
田中 征朗	本町・南町連合自治会

氏名	所属
二瓶比呂子	民生・児童委員
梶原 孝子	民生・児童委員
武田 眞宜	民生・児童委員
小俣 由起	民生・児童委員
渡来 由美子	民生・児童委員
黒木 宏子	民生・児童委員
永山 律子	民生・児童委員
渡邊 昇苗	主任児童委員
白石 千晶	民生・児童委員
井村 穰	民生・児童委員
倉本 恵美	主任児童委員
田中 京子	民生・児童委員
坂井 咲子	民生・児童委員

※任期:令和6年4月1日～令和8年3月 31 日

(5)ボランティア活動センター運営委員会 委員名簿

(敬称略)

No.	氏 名	所 属 団 体	区分
1	◎枝見 太朗	社会福祉法人 東京都共同募金会	1
2	○杉田 直木	地域つながり協力隊	2
3	中村 弘子	国分寺社会福祉士会	
4	浜野 浩一	HART 関東	
5	龍神 瑞穂	国分寺市民防災推進委員会	3
6	山内 敦	国分寺障害者施設お仕事ネットワーク (社会福祉法人 AnnBee)	
7	矢口 直生	特定非営利活動法人 NPO birth (都立武蔵国分寺公園サービスセンター)	
8	高野 隼史(～7年2月)	東京経済大学ボランティアサークル「Clover」	
	小出 翔太(～7年2月)		
	松木 美華(～7年2月)		
	矢野 彩我(7年2月～)		
	小倉 萌葉(7年2月～)		
	菅家虎士朗(7年2月～)		
9	中村 琢次	多摩信用金庫 国分寺支店	4
10	大山 純子	一般財団法人 国分寺市健康福祉サービス協会	
11	篠原のぞみ	個人	
12	成瀬 翼	個人	
13	人見 健太(～7年3月)	一般社団法人 国分寺青年会議所	
	澤田 勇太(7年3月～)		
14	紺野敬一朗	RANDOM	5
15	井上 慶一	国分寺市 市民生活部 協働コミュニティ課	

16	吉田 真也	東京ボランティア・市民活動センター	6
17	室地 隆彦	社会福祉法人 国分寺市社会福祉協議会	

※任期:令和6年4月1日～令和8年3月 31 日

※◎は委員長、○は副委員長。

(区分表)

番号	区分	番号	区分
1	学識経験者	4	まちづくりに関心を有する団体・企業
2	ボランティア活動センター登録団体	5	関係行政機関
3	ボランティア・市民活動関係者及び NPO 関係者	6	社会福祉協議会

(6)権利擁護センターこくぶんじ運営委員会委員名簿 (敬称略・順不同)

No.	氏名	区分	所属
1	◎ 足立 剛	弁護士	武蔵国分寺法律事務所
2	藤田 英親	医師	一般社団法人 国分寺市医師会
3	○ 真坂 武	司法書士	公益社団法人 成年後見センターリーガルサポート東京支部
4	永吉 久美	社会福祉士	公益社団法人 東京社会福祉士会
5	前出 禎造	民生・児童委員	国分寺市民生委員・児童委員協議会
6	二階堂寛	社会福祉協議会理事	国分寺市社会福祉協議会 理事
7	阿部 由美	福祉関係団体	NPO 法人 国分寺市手をつなぐ親の会
8	遠山 直子	福祉関係団体	認知症の人を支える家族の会「きさらぎ会」
9	毛塚 和英	福祉関係団体	NPO 法人 成年後見ウィル
10	森 純一	東京都社会福祉協議会	東京都社会福祉協議会 地域福祉部

※オブザーバー:伊達 俊二氏(顧問弁護士)

※任期:令和6年4月1日～令和8年3月 31 日

※◎は委員長 ○は副委員長

(7)「第 11 回 社協ふくしのつどい」受賞者名簿

<表彰:38 名>

会員会費(法人・団体会員)

学校法人 東京経済大学様、社会福祉法人 つくしんぼ共同保育会様、株式会社 アイルート むさし介護アカデミー様

高額寄付者(年間5万円以上)

中央大学学員会 国分寺白門会支部様、米林 芳子様、八木 冴子様、有限会社 ホクシンハウスプランニング様、匿名(1名)

登録団体・サロン

一般社団法人 一粒福社会 デイオアシスマほろば様、ニコトコ製作所様、ふらっとぱれっと様、美しい用水の会様、姿見の池ホテルの会様、「たまりば」の会様、国分寺市もともち地域センター利用者協議会様、内藤・日吉地域連合防災会様、防災まちづくり 27 会様、国分寺市スポーツウェルネス吹矢協会様、

ペーパークラフトの会様、本町健康マージャン友の会様、もとまち書道会様、ははがよむ様、ひまわり様、ひょうたん島サロン様、南町1丁目グループ様

ボランティアステーション:募金箱

美容室 フレール様

ボランティアステーション:車いすステーション

社会福祉法人 万葉の里 KOCO・ジャム様

見守り訪問事業 見守りサポーター

岩田 圭子様

国分寺市ファミリー・サポート・センター 援助会員

渡部 三重子様、小畑 正恵様、中松尾 美和様、鞍掛 憲子様、久保 洋様、島村 暁子様、酒井 素香様、杉田 智子様、中村 佳子様、本多 美代子様

<感謝:33名>

会員会費(法人・団体会員)

飯沼電気 株式会社様

会員会費(個人特別会員)

小俣 吉行様、米林 和子様、柴山 弘子様

高額寄付者(年間2万円以上)

尾茂 勝俊様、有限会社 みのる商事不動産様

登録団体・サロン

国分寺生きがいクラブ東南会様、ママも私も楽しむ親子ひろば まちのこ様、どりーむさぼーと LABO 様、国分寺の不登校を考える会様、野川源流みどりの会様、防災推進の街づくり仲間の会様、医師焼き芋様、こくぶんじかん編集室様、ぶんじ食堂プロジェクト様、HART 関東様

ボランティアステーション:車いすステーション

ヘアーサロン タケザワ様、一般社団法人 一粒福祉会 デイオアシスまほろば様

国分寺市ファミリー・サポート・センター 援助会員

太田 一彦様、清水 千代子様、岩浪 陽子様、中野 聡子様、廣部 眞由美様、中村 慶子様、小林 直子様、高林 佳子様、松井 雅子様、山崎 としみ様、松原 尚子様

地域福祉権利擁護事業 登録型生活支援員

山口 稔様、渡邊 剛様、濱倉 千晶様

子どもの学習・生活支援事業 協力者

株式会社 キニヨン様

(8)第 11 期 東京都共同募金会国分寺地区協力会役員名簿（敬称略）

役職	氏 名	所属・団体名	配分推せん委員会
会長	森田 林三	社会福祉法人 国分寺市社会福祉協議会	(委員長
副会長	小泉 清	戸倉自治会	副委員長
副会長	渡邊 幹夫	国分寺市老人クラブ連合会	
副会長	井口 朗	東京国分寺ロータリークラブ	
常務理事	新藤 圭一	内藤自治会	委員
理事	石井 一雄	東元町一丁目自治会	
理事	本多 隆	元町自治会	
理事	櫻井 幹三	高木町自治会	委員
理事	八木 弘一	光町北部自治会	
理事	小澤 弘	西町中藤町会	委員
理事	佐藤 和男	恋ヶ窪自治会連合会	
理事	加藤清一郎	本多連合町会	
理事	内藤 孝雄	国分寺市民生委員・児童委員協議会	
理事	藤原 英作	東京武蔵国分寺ロータリークラブ	
理事	川島 政義	東京国分寺ライオンズクラブ	
理事	高橋 智成	国分寺市商工会	委員
理事	朝倉 さく	国際ソロプチミスト国分寺	
理事	鰐崎 泉	国分寺市学童少年軟式野球連盟	
理事	田中 一郎	国分寺市教育委員会	
監事	飯沼 克美	社会福祉法人 国分寺市社会福祉協議会	監事
監事	新井 宏伸 ※令和6年3月 31 日まで	国分寺市健康部 地域共生推進課	

任期: 令和4年4月1日～令和6年度第1回理事・監事会終結の時まで

(9)第 12 期 東京都共同募金会国分寺地区協力会役員名簿(敬称略)

役職	氏 名	所属・団体名	配分推せん委員会
会長	森田 林三	社会福祉法人 国分寺市社会福祉協議会	委員長
副会長	野口 誠一	国分寺市老人クラブ連合会	
副会長	藤原 英作	東京武蔵国分寺ロータリークラブ	
常務理事	田中 健一	内藤自治会	委員
理事	神崎 政義	戸倉自治会	委員
理事	石井 一雄	東元町一丁目自治会	
理事	小坂 宗次	元町自治会	
理事	櫻井 幹三	高木町自治会	副委員長
理事	八木 弘一	光町北部自治会	
理事	寺本 桂一	西町中藤町会	
理事	佐藤 和男	恋ヶ窪自治会連合会	
理事	加藤清一郎	本多連合町会	
理事	内藤 孝雄	国分寺市民生委員・児童委員協議会	
理事	川島 政義	東京国分寺ライオンズクラブ	
理事	高橋 智成	国分寺市商工会	委員
理事	朝倉 さく	国際ソロプチミスト国分寺	

理事	鯨崎 泉	国分寺市学童少年軟式野球連盟	
理事	榎本 圭志	国分寺市教育委員会	
理事	小峯 基弘	国分寺市健康部 地域共生推進課	
監事	飯沼 克美	社会福祉法人 国分寺市社会福祉協議会	監事
監事	土井 満春	東京国分寺ロータリークラブ	

任期: 令和6年8月1日～令和8年度第1回理事・監事会終結の時まで

【ここねっと推進助成事業 決定一覧】

① 日常活動費(計6件 234,000 円)

No.	団 体 名	事 業 名	助成金額(円)
1	マジックサークル木曜会	マジックによる地域交流活動	50,000
2	特定非営利活動法人 ひょうたん島	ワンコイン講座・ひょうたん島「つうしん」の発行	50,000
3	並木町防災準備会	並木町防災会設立準備	50,000
4	恋ヶ窪・カワセミ倶楽部	カワセミセミナー	50,000
5	ひょうたん島サロン	地域の元気な高齢者のサロン	25,000
6	国分寺の不登校を考える会	学校に行きづらいお子さまと家族をサポートする活動	9,000

② イベント費(計6件 240,000 円)

No.	団 体 名	事 業 名	助成金額(円)
1	特定非営利活動法人 国分寺にふるさとをつくる会	多摩の自然を楽しく学ぶ会	40,000
2	廃棄物減量を推進する会(ハイキー)	市内小学校へのゲストティーチャー派遣事業	30,000
3	防災まちづくり 27 会	防災講演会	30,000
4	内藤・日吉地域連合防災会	防災フェスタ	50,000
5	国分寺市聴覚障害者協会	講演会(手話に関する活動)	40,000
6	国分寺市障害者福祉を進める会	障害福祉の理解をすすめるカレンダー制作事業	50,000

③ 立ち上げ費(計3件 86,000 円)

No.	団 体 名	事 業 名	助成金額(円)
1	みなこのわ	子どもを中心とした学び・遊びの場づくり	30,000
2	フリースペース・ミモザ	女性が疲労感などを持った際に立ち寄れる居場所作り	26,000
3	おひさまてらす	ひきこもり等、生きづらさを支える家族の会	30,000

【ボランティア活動センター 登録団体一覧】

※印は新規登録団体 (順不同)

【障害児者関係】		【子ども関係】	
1	音訳グループやまばと	1	おはなしの会「でんでんだいこ」
2	拡大写本こくぶんじ	2	ガールスカウト東京都第 97 団
3	国分寺あゆみ会	3	特定非営利活動法人 コアラッコ子育てサポート
4	国分寺子どもクラブ		
5	国分寺市障害者福祉を進める会	4	国分寺市青少年育成南地区委員会
6	国分寺市聴覚障害者協会	5	東京学芸大学地域子ども会活動サークル むぎのこ 国分寺班
7	国分寺障害者団体連絡協議会		
8	国分寺難病の会	6	ニコトコ製作所
9	社会福祉法人 東京聴覚障害者福祉 事業協会 クラブかたつむり	7	特定非営利活動法人 国分寺市にふるさとをつくる会
10	社会福祉法人 はらからの家福祉会	8	ふらっとぱれっと
11	手話サークル国分寺	9	ママも私も楽しむ親子ひろば まちのこ
12	特定非営利活動法人 Ohana	10	どりーむさぽーとLABO
13	特定非営利活動法人 国分寺市手をつなぐ親の会	11	国分寺の不登校を考える会
		12	こどもの未来探求学習
14	特定非営利活動法人 国分寺ハンディキャップ運営委員会	15	COKUCAMP(こくキャン)
		16	ゆるやかコミュニティ ふたごのまあち
15	特定非営利活動法人 視覚障がい者ネットワークコトリナ	17	国分寺市立第十小学校PTA
		18	駄菓子屋くにきたベーす
16	特定非営利活動法人 ひょうたん島	19	国分寺市青少年育成中央地区委員会
17	布林デンテニスクラブ	20	みなこのわ
【高齢者関係】		19	「鶏眞ボランティア」の会
1	一般社団法人 日本スポーツウェルネス 吹矢協会 国分寺中央支部	20	特定非営利活動法人 一粒の麦 ark 学習塾
		21	えんがわ SALON ※
2	一般社団法人 一粒福祉会 デイオアシスまほろば	22	なちゅべび nice to have ※
		23	国分寺・国立ママサークル おひさま ※
3	傾聴ボランティアグループかたらい	【環境関係】	
4	国分寺市寿奉仕団	1	美しい用水の会
5	高木長寿会	2	ミズモリ団
6	特定非営利活動法人 すまいる	3	緑と自然を育てる会
7	東元町明寿会	4	野川源流みどりの会
8	老人クラブ 友愛会	5	もとまち里山クラブ ※
9	国分寺生きがいクラブ東南会	【趣味・特技関係】	
10	特定非営利活動法人 バードライフサポート虹いろ	1	OH! ジーンズ
		2	国分寺語りの会
11	共益東長寿会	3	国分寺市スポーツウェルネス吹矢協会
12	大正琴すみれグループ ※	4	光パソコンの会
13	健康クラブ連合会 ※	5	ペーパークラフトの会
【まちづくり・防災関係】		6	マジックサークル木曜会
1	「たまりば」の会	7	もとまち書道会

2	かたぐるまの会	【防災関係】	
3	国分寺市北町地域センター利用者協議会	1	内藤・日吉地域連合防災会
4	国分寺市西町プラザ利用者協議会	2	防災まちづくり 27 会
5	国分寺市もとまち地域センター利用者協議会	3	防災推進の街づくり仲間の会
6	地域つながり協力隊	4	並木町防災準備会
7	特定非営利活動法人 まちづくりサポート国分寺	5	ペット防災会☆国分寺
8	特定非営利活動法人 ワーカーズ風ぐるま	【その他】	
9	日吉町町内会	1	国分寺赤米会
10	本多連合町会	2	国分寺市赤十字奉仕団
11	医師焼き芋	3	国分寺社会福祉士会
12	こくぶんじかん編集室	4	国分寺文化財愛護の会
13	ぶんじ食堂プロジェクト	5	特定非営利活動法人 成年後見ウィル
14	こくフェス実行委員会	6	特定非営利活動法人 日本セラピスト普及協会
15	こくセージ	7	特定非営利活動法人 東京多摩いのちの電話
16	にわのいえ・もとまち	8	ははがよむ
17	国分寺市内藤地域センター利用者協議会	9	みんなで歩こう会
18	こくぶんじ井戸端会議シネマ	10	HART 関東
19	フリースペース・ミモザ	11	Hope Creator (ほーぷくりえいたー)
20	わらしべコーヒー	12	恋ヶ窪・カワセミ倶楽部
21	地域づくりをすすめる会(ふうらい) ※	13	おひさまてらす ※
22	こくぶんじ・みんなの 居場所づくり連絡会 ※	14	クリーン国分寺 ※

【登録サロン一覧】

種別	サロン名	実施地区
親子	一般社団法人(非営利型)小さな森Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	東元町他
高齢	認知症の人を支える家族の会「きさらぎ会」	泉町他
	ひょうたん島サロン	本多
高齢(体操)	南町1丁目グループ	南町

【令和6年度車いすステーション一覧】

No.	ステーション名	町 名
1	すぎもと米店	東元町
2	もとまち公民館	
3	リハセンターにんじん・健康の駅	西元町
4	社会福祉法人 AnnBee(アンビー)	
5	らくだ デイサービス	南町
6	地域生活支援センター プラッツ	
7	日之出屋寝具店	
8	本町・南町地域センター	
9	深田記念館	本町
10	イエノウエノカフェ	
11	たけむら整形外科	
12	ケア・センターやわらぎ国分寺	
13	三多摩医療生活協同組合 国分寺診療所	
14	行政書士 石井法務事務所	本多
15	医療法人社団 清浩会 杉山歯科医院	
16	プライム ふく福	
17	本多三丁目北町内会 1(島森宅)	
18	有限会社 アワーズ	東恋ヶ窪
19	社会福祉法人 浴光会 あじさい苑	
20	坂本宅	
21	国分寺東恋ヶ窪四郵便局	
22	北の原地域センター	
23	セブン-イレブン西国分寺駅前店	泉町
24	アマネシ酒店	
25	国分寺市介護老人保健施設 すこやか	
26	及川宅	
27	特定非営利活動法人 ワーカーズ風ぐるま	西恋ヶ窪
28	有限会社 宮寺酒店	
29	特定非営利活動法人 すまいる	
30	ヘアーサロン タケザワ	
31	社会福祉法人 万葉の里 KOCO・ジャム	東戸倉
32	特定非営利活動法人 暖家 グループホームとくら	
33	社会福祉法人 けやきの杜 小規模多機能むさし	戸倉
34	社会福祉法人 幹福社会 国分寺事業部 ヘルプ協会国分寺	日吉町
35	権利擁護センターこくぶんじ	
36	クラブかたつむり	
37	ナイトウ果樹園	内藤
38	一般社団法人 一粒福社会 デイオアシスまほろば	富士本
39	特定非営利活動法人 国分寺ハンディキャブ運営委員会	並木町

40	曹洞宗 妙法寺	北町
41	放課後デイサービス 第2ルーチェ	光町
42	高島屋 原田酒店	高木町
43	織田島酒店	
44	にしまち歯科	西町
45	けやき台分譲団地管理組合	
46	西町弁天町内会(宮下宅 元 グリコ牛乳販売店)	

自治会・町内会別 協力状況

(単位 円)

自治会 番号	自治会・町内会名	社協会員会費	赤い羽根 共同募金	歳末たすけあい 地域福祉活動募金
1	東元町一丁目自治会	155,250	155,250	155,250
2	元町自治会	277,800	298,100	299,100
3	元町親交会	40,601	42,600	42,400
4	東急住宅自治会	10,000	10,000	16,000
5	東松風園東二組	-	-	-
7	西元町二丁目町会	10,000	10,000	10,000
8	黒鐘自治会	25,000	25,000	25,000
10	南町一丁目自治会	20,000	20,000	20,000
11	南町二丁目町会	50,000	65,000	65,000
13	南町三丁目花沢台町会	24,900	27,800	27,300
15	本町一・二丁目東町会	39,500	41,100	30,400
16	本町二丁目仲町会	15,000	15,000	15,000
17	本町二丁目北町会	23,000	23,400	22,400
18	本町三丁目東町会	-	20,100	19,000
19	本町三四自治会	30,000	-	-
20	本町四丁目町会	30,000	-	30,000
21	都営国分寺本町四丁目アパート花沢自治会	-	8,000	10,000
22	本多一丁目東町内会	36,000	35,010	32,700
23	本多一丁目西町内会	17,000	17,600	16,500
25	本多二丁目町内会	45,100	46,600	38,800
26	本多三丁目南町内会	32,000	35,000	28,500
27	本多三丁目北町内会	65,100	69,800	81,801
28	本多四丁目東町内会	49,500	51,000	50,600
29	本多四丁目西町内会	73,500	81,200	81,000
30	本多五丁目東町内会	101,800	93,300	97,407
31	本多五丁目西町内会	20,000	15,000	15,000
32	ニュー国分寺ハイツ自治会	10,000	-	8,000
34	泉町大和会	20,000	10,000	20,000
35	東松風園東一組	10,000	5,000	5,000
36	東松風園中一組	10,500	10,350	10,400
38	東松風園西一組	3,000	-	-
41	押切間和光会	10,000	10,000	10,000

(単位 円)

自治会 番号	自治会・町内会名	社協会員会費	赤い羽根 共同募金	歳末たすけあい 地域福祉活動募金
42	若松会	14,000	8,400	8,400
43	泉町親交会	5,000	10,000	10,000
46	泉町西自治会	3,000	10,000	10,000
48	泉町三丁目親和会	23,300	24,800	24,900
49	さつき会	-	9,500	10,000
50	泉町三丁目いずみ自治会	3,000	4,000	5,500
54	若葉自治会	3,000	13,500	15,000
56	東恋ヶ窪三丁目自治会	10,000	10,000	10,000
57	東恋ヶ窪四丁目自治会	102,200	102,400	91,460
59	東恋ヶ窪六丁目自治会	49,800	52,400	45,400
60	泉山自治会	10,000	10,000	10,000
61	西国分寺北口自治会	10,000	10,000	10,000
62	西恋ヶ窪一丁目自治会	10,000	10,000	10,000
63	西恋ヶ窪二丁目自治会	-	20,000	-
64	西恋ヶ窪三丁目自治会	38,233	36,781	37,120
65	西恋ヶ窪四丁目自治会	34,700	49,000	49,950
66	日吉町町内会	3,000	-	-
67	武蔵台自治会	3,000	-	-
68	日吉町新和会	5,000	5,000	-
69	日吉町清秋会	-	-	-
70	日吉町二丁目自治会	22,500	21,500	37,800
71	内藤自治会	50,000	50,000	323,607
72	内藤一丁目第4アパート自治会	-	-	-
73	内藤睦会	20,000	20,000	20,000
74	内藤泉会	-	-	-
75	内藤みどり会	3,000	5,000	5,400
76	内藤二丁目自治会	14,000	-	-
77	内藤一丁目第3都営アパート自治会	2,500	-	-
79	戸倉自治会	581,000	100,000	649,300
80	平和台自治会	-	-	4,100
83	岸自治会	-	4,500	-
86	富士本一丁目互助自治会	2,000	2,000	2,500
88	富士本一丁目自治会	20,000	20,000	20,000

(単位 円)

自治会 番号	自治会・町内会名	社協会員会費	赤い羽根 共同募金	歳末たすけあい 地域福祉活動募金
89	富士本二丁目自治会	10,000	15,000	15,000
90	富士本三丁目自治会	45,000	45,000	-
91	富士本三丁目都営第2アパート自治会	3,000	3,000	3,000
93	JR光町アパート自治会	5,000	5,000	5,000
94	光町南部自治会	100,000	-	100,000
95	光町北部自治会	50,000	50,000	50,000
96	みやま会	-	5,800	4,155
98	西町友和会	3,000	3,000	-
99	東栄西町自治会	-	-	-
101	くぬぎ会	3,000	-	3,000
102	中藤南会	13,000	5,000	-
103	あゆみ会	-	-	-
104	国立団地協議会	8,000	8,000	8,000
105	若草会	10,000	5,000	10,000
106	三中前自治会	-	-	-
107	三中裏自治会	2,500	2,500	2,500
108	けやき台分譲団地管理組合	17,500	23,800	22,800
109	西町弁天町内会	50,000	20,000	115,300
110	西町中藤町会	136,800	30,000	146,800
111	都営国分寺西町五丁目アパート	-	15,400	-
112	西町さくら会	-	3,000	3,000
113	高木町自治会	70,000	50,000	202,300
116	新町あけぼの会	7,500	7,500	7,500
118	新町はづき自治会	15,000	10,000	10,000
120	共益新町自治会	49,600	-	-
121	新町三丁目自治会	30,000	30,000	30,000
122	新町三丁目親睦会	-	-	-
123	鷹の台団地国分寺自治会	5,000	5,000	-
126	並木町二丁目さつき会	3,000	5,000	-
127	並木町三丁目西部自治会	20,000	10,000	10,000
	合 計	2,953,684	2,206,991	3,441,350
	協力団体件数	78団体	75団体	71団体

「歳末たすけあい・地域福祉活動募金」実績

募金種別	団体名等(順不同・敬称略)	金額(円)
戸別募金	自治会・町内会(71団体)	3,441,350
	小計 ①	3,441,350
職域・ 団体募金	国分寺市老人クラブ連合会(20団体)	97,176
	国分寺市民生委員・児童委員協議会	64,000
	東京国分寺ロータリークラブ	41,217
	東京武蔵国分寺ロータリークラブ	31,500
	国際ソロプチミスト国分寺	10,000
	国分寺市役所職員	69,658
	国分寺市商工会	5,000
	学校法人国際文化学園 国際文化理容美容専門学校 国分寺校	40,000
	特定非営利活動法人 あおぞら	10,000
	有限会社 さやか企画	10,000
	多摩信用金庫 国分寺支店	5,000
	戸倉工業 株式会社	10,000
	東京むさし農業協同組合 国分寺支店	5,000
	公益財団法人 鉄道総合技術研究所	10,000
	株式会社 佐藤総研	5,000
	デイサービス こもれば家族	5,000
	テイジュン こもれば家族	5,000
	ホームヘルプ こもれば家族	5,000
	ケアプラン こもれば家族	5,000
	サコージュ国分寺	5,000
	妙法寺	10,000
	特定非営利活動法人グリーンハート ツリーハウス	1,087
	ボランティア活動センターこくぶんじ登録団体・サロン	
	ハーモニカ同好会「ふくの会」	1,000
	傾聴ボランティアグループかたらい	3,000
	国分寺市北町地域センター利用者協議会	4,750
	国分寺難病の会	2,000
	国分寺市寿奉仕団	1,000
	一般社団法人 日本スポーツウェルネス吹矢協会 国分寺中央支部	5,000
	ガールスカウト東京都97団	3,000
	みんなで歩こう会	5,000
	もとまち書道会	1,250
	野川源流みどりの会	5,000
	防災まちづくり27会	1,000
	国分寺市スポーツウェルネス吹矢協会	3,000
	特定非営利活動法人 成年後見ウィル	2,000
	マジックサークル木曜会	5,000

《翌年度地域福祉活動費(令和7年度使用分)への配分》

事業名	配分金額(円)
国分寺ふくし交流支援事業	600, 000
ひとり暮らし等高齢者地域交流事業	100, 000
ここねっと推進助成事業	700, 000
市民への地域福祉情報提供事業	1,000, 000
高齢者への支援事業	220, 000
ボランティア活動推進事業	1,276,025
合 計	3,896,025

※令和6年度実績額 4,243,086 円－令和6年度事務費 347,061 円

＝配分金額 3,896,025 円

「赤い羽根共同募金」地区募金実績

募金種別	団体名等(順不同・敬称略)	金額(円)
戸別募金	自治会・町内会(75団体)	2,206,991
	小計 ①	2,206,991
職域・団体募金	国分寺市老人クラブ連合会(20団体)	66,211
	国分寺市民生委員・児童委員協議会	36,000
	東京国分寺ロータリークラブ	21,500
	東京武蔵国分寺ロータリークラブ	23,500
	国際ソロプチミスト国分寺	10,000
	国分寺市役所職員	79,809
	国分寺市商工会	5,000
	国分寺障害者団体連絡協議会(運動会時募金箱設置)	8,800
	国分寺難病の会	3,000
	特定非営利活動法人 成年後見ウィル	2,000
	一般社団法人 日本スポーツウェルネス吹矢協会 国分寺中央支部	10,295
	国分寺市寿奉仕団	1,000
	労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団	1,710
	ハーモニカ同好会「ふくの会」	
	特定非営利活動法人 国分寺市手をつなぐ親の会	3,000
	防災まちづくり27会	1,000
	国分寺赤米会	1,000
	国分寺語りの会	1,000
	募金箱設置にご協力いただいた福祉施設 ・一般社団法人 Life Commit 就労支援事務所 チェンジアップ ・社会福祉法人 万葉の里 ・社会福祉法人 東京聴覚障害者福祉事業協会 クラブかたつむり ・社会福祉法人 AnnBee ・社会福祉法人 はらからの家福祉会 ・特定非営利活動法人 国障連喫茶 ・特定非営利活動法人 Ohana ・一般社団法人 一粒福祉会 デイオアシスまほろば ・社会福祉法人 ななえの里 ともしび工房 ・社会福祉法人 けやきの杜 ・社会福祉法人 村山苑 ひよし保育園	32,290
	市内小学校・中学校(14校) 生徒会・児童会・委員会による募金活動、募金箱	220,228
	社協理事・監事、評議員、協力員、職員	57,830
	小計 ②	585,173
街頭募金 (地区募金)	国分寺市学童少年軟式野球連盟	548,802
	国分寺地区協力会/地域配分受配団体/民生委員・児童委員協議会	136,686
	前年度地域配分受配団体(街頭募金欠席団体によるご協力)	20,404
	早稲田実業学校 生徒会	93,507
	小計 ③	799,399
事務局受付	個人	16,500
	募金箱(もとまち公民館まつり設置分含む)	5,284
	小計 ④	21,784
合計 ①+②+③+④		3,613,347

【「地域配分(B配分)」(令和6年度申請・7年度使用)について】

区分	施設・団体名	事業内容	配分金額(円)
障	ひまわり号を走らせる 国分寺実行委員会	ひまわり号を走らせる事業 (貸切列車の日帰り旅行)	200,000
障	社会福祉法人 AnnBee ビーパス	備品整備(電動スライサー購入)	110,000
障	国分寺障害者団体連絡協議会	笑いと歌の会・共生イベント開催事業	200,000
児・他	にわのいえ・もとまち	備品整備(子どもたちの自然学習のための 物置設置)	160,000
障	特定非営利活動法人 ひょうたん島	重症心身障がい児・者の理解を深める事 業(シャボン玉ショーの開催)	170,000
児	一般社団法人 こころのネットワ ーク陽 メリーランド国分寺	活動部屋の照明器具変更に伴う工事	200,000
障	特定非営利活動法人 Ohana オ ハナ農園	緑化作業備品整備(空調服購入)	130,000
障	特定非営利活動法人 国分寺市 手をつなぐ親の会 まあぶ	知的障がい者の社会見学 (西武園ゆうえんち)	160,000
高・障	一般社団法人 一粒福社会 デイオアシスまほろば	革工芸創作品製作のための備品整備(ハ ンドプレス機・ハンドクリッカー購入)	30,000
障	国分寺市身体障害者福祉協会	日帰り研修旅行(山梨いちご狩り)	190,000
障	社会福祉法人 ココロ学舎 ET教室	備品整備(折りたたみテーブル・丸椅子の 購入)	110,000

＊本会が行う地域福祉活動事業への配分

事業名	配分金額(円)
社協の広報活動(社会福祉だより「ふくし」の発行等)	700,000

【「全都配分(A配分)」について】

区分	施設・団体名	事業内容	配分金額(円)
児	社会福祉法人 千春会 千春第二保育園	保育室床貼工事	880,000

社協会員会費増強運動 実績

【福祉特別功労会員(100,000 円以上)】(順不同)

株式会社 丸福商事 様、東京国分寺ロータリークラブ 様、有限会社 英 様、一般社団法人 国分寺市医師会 様、匿名(1名)

【法人会員・団体会員(10,000 円以上)】(順不同)

■50,000 円以上

東京国分寺ライオンズクラブ 様、東京むさし農業協同組合 国分寺支店 様

■40,000 円以上

東京武蔵国分寺ロータリークラブ 様

■30,000 円以上

リオン株式会社 様

■20,000 円以上

株式会社 菰田印刷 様

■10,000 円以上

東元町商店会 様、特定非営利活動法人あおぞら 様、社会福祉法人 AnnBee 様、特定非営利活動法人 国分寺ハンディキャブ運営委員会 様、一般財団法人 国分寺市健康福祉サービス協会 様、有限会社 アクティブサポート 様、学校法人 国際文化学園 国際文化理容美容専門学校 国分寺校 様、戸倉工業 株式会社 様、社会福祉法人 はらからの家福祉会 様、株式会社 みずほ銀行 国分寺支店 様、社会福祉法人 けやきの杜 様、読売センター国分寺 恋ヶ窪 様、株式会社 アイティープラス 様、社会福祉法人 村山苑 ひよし保育園 様、一般社団法人 東京都国分寺市歯科医師会 様、妙法寺 様、社会福祉法人 万葉の里 様、タツミ建設 株式会社 様、国際ソロプチミスト国分寺 様、社会福祉法人 ななえの里 様、多摩信用金庫 国分寺支店 様、北多摩東地区保護司会 国分寺分区 様、オザキエンタープライズ 株式会社 様、社会福祉法人 至誠学舎立川 至誠ホームミンナ 様、特定非営利活動法人 国分寺市にふるさとをつくる会 様、有限会社 さやか企画 様、社会福祉法人 桑の実会 国分寺Jキッズステーション 様、一般社団法人 国分寺青年会議所 様、社会福祉法人つくしんぼ共同保育会 様、労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団 様、西武信用金庫 西国分寺支店 様、飯沼電気 株式会社 様、鉄道情報システム 株式会社 様、学校法人 東京経済大学 様、株式会社 佐藤総研 様、特定非営利活動法人 ひょうたん島 様、RANDOM 様、株式会社 藤雅園 様、株式会社シーズプレイス コペルプラス 西国分寺教室 様、Kサポート税理士事務所 様、社会福祉法人 浴光会 浴光保育園 様、国分寺建設業協会 様、公益財団法人 鉄道総合技術研究所 様

【法人会員・団体会員(3,000 円以上)】(順不同)

社会福祉法人 千春会 千春第二保育園 様、社会福祉法人 ココロ学舎 ET 教室 様、手話サークル 国分寺 様、ワーカーズコープ KWC 福祉事業所 すてっぷ 様、医療法人社団 美誠会 エクセルシオール西国分寺 様、かたぐるまの会 様、特定非営利活動法人 日本セラピスト普及協会 様、国分寺あゆみ会 様、特定非営利活動法人 東京多摩いのちの電話 様、一般社団法人 スポーツウエルネス吹矢協会 国分寺中央支部 様、国分寺難病の会 様、拡大写本こくぶんじ 様、国分寺市寿奉仕団 様、本町健康マージャン友の会 様、音訳グループ やまばと 様、特定非営利活動法人 成年後見ウィル 様、筆跡カウンセラー協会 様、国分寺市青少年育成北地区委員会 様、国分南栄商店会 様、合同会社 福祉企画 風来 様

【老人クラブ(3,000 円以上)】(順不同)

南寿会 様、友愛会 様、光寿会 様、共益長寿会 様、共益東長寿会 様、西町百寿会 様、あけぼの会 様、高木長寿会 様、本多新西寿楽会 様、本多南寿楽会 様、中戸倉長生会 様

■令和6年度 会員会費増強運動実施状況

会員区分	実績			
	会員数(人)	前年比(人)	会費金額(円)	前年比(円)
個人会員	2,273	△286	1,143,900	△143,800
個人賛助会員	722	46	808,200	50,500
個人特別会員	40	△17	270,000	△138,700
団体会員	35	△7	248,300	△119,700
法人会員	49	7	504,000	39,000
福祉特別功労会員	5	0	805,000	125,000
計	3,124	△257	3,779,400	△187,700
寄付者	9,175	13	1,098,784	△59,987
合計	12,299	△244	4,878,184	△247,687

■年度別会員数および会費状況

年度	会員数(人)	会費金額(円)	比較増減(円)
昭和41年度	1,305	1,063,300	
昭和50年度	4,687	4,501,030	2,130,280 / 5年
昭和55年度	10,365	8,778,079	4,277,049 / 5年
昭和60年度	12,466	9,768,098	990,019 / 5年
平成2年度	10,561	10,141,179	373,081 / 5年
平成7年度	12,535	12,824,370	2,683,191 / 5年
平成12年度	11,128	11,261,396	△1,562,974 / 5年
平成17年度	9,821	9,339,751	△1,921,645 / 5年
平成22年度	8,354	6,765,175	△2,574,576 / 5年
平成27年度	7,462	6,361,474	△403,701 / 5年
令和2年度	5,144	5,096,877	△1,264,597 / 5年
令和3年度	2,688	3,482,201	△670,549
令和4年度	2,575	3,398,500	△83,701
令和5年度	3,381	3,967,100	568,600
令和6年度	3,124	3,779,400	△187,700

